

# あいち 食育いきいきレポート2024



# はじめに

愛知県では、食育基本法に基づき、県民一人一人が食の大切さを理解して、主体的に食育に取り組むための指針として、2021年3月に第4次愛知県食育推進計画である「あいち食育いきいきプラン2025」を作成しました。

このプランで掲げた「これまでの取組の継承とSHIN化」により食育の実践力を高めていくために、知事を会長として、学識経験者、教育関係者、保育・社会福祉関係者、医療・保健関係者、農林水産業関係者、食品関連事業・企業関係者、消費者団体関係者等により構成される「愛知県食育推進会議」を中心に、県、市町村、団体、事業者などがそれぞれの役割と特性を生かし、様々に連携・協力しながら継続的な県民運動として食育活動を展開しています。

この度、2023年度に行われた県内の食育の取組の中から、特に①新規の取組又は5年以上継続して行われている取組、②新しい生活様式・デジタル化に対応した取組③他の機関と連携して行われた取組などをレポートとして取りまとめました。

本書が皆さんの食育活動の幅を広め、それぞれの地域にあった食育推進の一助となれば幸いです。

## 各マークの説明



健康な体



豊かな心



環境に優しい暮らし



食育を支える

# 目次

章	項目	ページ 番号
I	「あいち食育いきいきプラン2025」について	3
II	特集「地域食育推進ボランティア研修交流会」について	5
III	2023年度の主な取組の状況	7
	 食を通じて健康な体をつくる取組	7
	(1)ライフスタイルに即したバランスのとれた食生活の実践	7
	(2)生活習慣病予防や適正体重維持の推進	14
	(3)食の安全・安心に関する信頼の構築	18
	 食を通じて豊かな心を育む取組	19
	(1)食を楽しむゆとりの積極的な確保	19
	(2)体験や交流を通じた豊かな人間性の育成と食の理解促進	21
	(3)日本の食文化や郷土料理等の理解と継承	25
	 食を通じて環境に優しい暮らしを築く取組	29
	(1)食生活における環境への配慮の徹底	29
	(2)農林水産業への理解と地産地消の推進	33
	(3)農林水産業や食品関連産業における環境への配慮の徹底	34
	 食育を支える取組	35
	(1)食育にかかる人材の育成と活動の充実	35
	(2)多様な関係者による役割分担とネットワークの活用	36
	(3)いいともあいち運動の推進と充実	37
IV	県や関係団体の取組一覧	38
V	食育推進に関する問い合わせ先	51

# I 「あいち食育いきいきプラン2025」について

- 「あいち食育いきいきプラン2025」（第4次愛知県食育推進計画）は、食育基本法に基づく愛知県の食育推進計画で、2021年4月からスタートしました。
- あいち食育いきいきプラン2025は、「健康な体」「豊かな心」「環境に優しい暮らし」「食育を支える」を食育の取組の柱に据え、健康で活力有る社会の実現を目指しています。
- プラン2025は愛知県の第4次計画として、これまでの取組を継承するとともに、多様な主体同士の連携や新しい生活様式の実践、SDGs達成への貢献などを踏まえ、取組を“SHIN化”（新化・進化・深化・伸化）させ、食育の実践力を高めていきます。

“SHIN化”って？

「新化」...時代に合わせた変化  
「進化」...多様な発展  
「深化」...質の向上  
「伸化」...横展開のつながり

「S」...Sustainable(持続可能な)  
「H」...Healthy(健康な)  
「I」...Interesting(興味深い)  
「N」...Network(連携)

## 食育の実践による健康で活力ある社会の実現



- あらゆる世代の県民が健全な食生活を送り、心身ともに健全で豊かに暮らすためには、生涯を通じた間断のない食育が重要です。このため、乳幼児から高齢者に至るまで、ライフステージと生活場面に応じた切れ目ない食育を進めています。
- また、食育に関する取組の実効性を高めるため、様々な関係者が、その役割と特性を生かしつつ、密接に連携・協力して、県民運動として食育を展開しています。



○食育の推進について、県や関係団体等は、あいちの食育が目指す3つの方向に則して、ライフステージと生活場面に応じ、それぞれの役割と特性を生かしつつ連携・協力して、継続的に情報提供や実践促進活動を行っています。

保幼 保育所・幼稚園・認定こども園 職場 勤務先  
学校 小学校～大学 地域 その他の場所  
※「保幼」「学校」には特別支援学校を含む

■取組の体系

取組の体系	取組の名称	取組の内容	保幼	学校	職場	地域
食を通して健康な体をつくる取組	ライフスタイルに即したバランスのとれた食生活の実践	ア 乳幼児期における基本的な食習慣の確立	●			●
		イ 学校における小中学生への食に関する指導の充実		●		
		ウ 小中学生の食育のための家庭への支援		●		●
	生活習慣病予防や適正体重維持の推進	エ 高校における食育の充実		●		
		オ 青年期以降の若い世代を中心とした食育の推進		●	●	●
		カ 働く世代に対する食育の推進			●	●
		キ 妊産婦や乳幼児を持つ親への食育の推進				●
		ク 高齢期における食による健康維持の推進				●
		ア 子どもの肥満予防等の推進	●	●		
食の安全・安心に関する信頼の構築	イ 歯の大切さについての子どもへの啓発活動の推進	●	●			
	ウ 思春期からの適正体重の維持の推進		●			
	エ 職場における従業員等の健康に配慮した食育の推進			●	●	
食を通して豊かな心を育む取組	食を楽しむゆとりの積極的な確保	オ 地域における健康寿命延伸につながる食育の推進				●
		カ 野菜摂取量増加の取組の拡充				●
		ア 食品表示の適正化の推進		●		●
	体験や交流を通じた豊かな人間性の育成と食の理解促進	イ 食の安全・安心に関する情報提供と理解促進		●		●
		ウ 安全に関する自主管理と情報開示の促進		●		●
		エ 学校給食等における食物アレルギーへの対応	●	●		
	日本の食文化や郷土料理等の理解と継承	ア 給食や弁当を通じた豊かな人間性の育成	●	●		
		イ 家族や友人と食事をとるための環境整備		●		●
		ウ 子どもや高齢者等の「こ食」への対応	●	●	●	●
食を通して暮らしに環境に優しく暮らす取組	食生活における環境への配慮の徹底	ア 乳幼児期における食とふれあう機会の確保	●			●
		イ 少年期から青年期を中心とした食に関する体験等の充実		●		●
		ウ 幅広い層に向けた体験・交流の機会の提供				●
	農林水産業への理解と地産地消 <sup>2)</sup> の推進	エ 国際的な食文化に対する理解の促進				●
		ア 子どもに対する食事作法の習得	●	●		●
		イ 給食等における地場産物や郷土料理等の導入促進	●	●	●	
	農林水産業や食品関連産業における環境への配慮の徹底	ウ 日本型食生活 <sup>3)</sup> の推進、郷土料理等地域の食文化の継承		●		●
		ア 持続可能な暮らしのための環境学習の推進		●		●
		イ 環境に配慮した食料品等の購入やリサイクル等の実践		●		●
食育を支える取組	食育にかかる人材の育成と活動の充実	ウ 環境に配慮した食生活の実践				●
		ア 農林水産業への関心と理解を深める取組の推進				●
		イ 給食等による子どもに対する地産地消の理解と利用の促進		●		
	多様な関係者による役割分担とネットワークの活用	ウ 青年期以降における地産地消の実践		●	●	●
		エ 直売所における生産者と消費者の交流促進				●
		ア 農林水産業における環境への配慮				●
	いいともあいち運動 <sup>3)</sup> の推進と充実	イ 食品関連事業者における食品廃棄物等の削減				●
		ウ 未利用食品の有効活用の普及啓発				●
		ア 保育・教育機関における推進体制の充実	●	●		
食育に関する情報共有と連携のさらなる強化	イ 社会人を対象とした推進体制の充実			●	●	
	ウ 愛知県食育推進ボランティア <sup>2)</sup> の育成と活動の充実				●	
	エ 食育を担う多様な人材の育成と活動の促進				●	
食育に関する情報発信の充実	ア 活動主体同士の情報共有と連携のさらなる強化	●	●	●	●	
	イ ネットワークを活用した関係者間の情報共有				●	
	ウ 食育に関する情報発信の充実				●	
食育に関する情報発信の充実	ア 運動の定着促進				●	
	イ 協働活動の充実				●	
	ウ 積極的な情報発信による県産農林水産物の利用拡大				●	

## Ⅱ 特集

### 「地域食育推進ボランティア研修交流会」について

愛知県では、地域での食育を推進するため、各地域で県民の皆さんに対し、食育を自主的に行っていただける方を「食育推進ボランティア」として登録しています。毎年、各地域で、食育推進ボランティアの方を対象に、活動に役立ててもらうため、食育に関する知識の向上、仲間との交流の機会となる研修交流会を開催しています。

○愛知県食育推進ボランティアについて（食育ネットあいち）  
<https://www.pref.aichi.jp/shokuiku/shokuikunet/support/volunteer.html>



### 地域食育推進ボランティア研修交流会の様子（2023年度）

#### <尾張地域>

「地域の食文化と歴史」をテーマに、愛知県調理師会副会長の鳥居久雄氏から、あいちの郷土料理を中心に講演をいただきました。講演後は、「切干し大根を使ったレシピ紹介」もあり、洋風や中華風にアレンジされた料理が紹介されました。参加者からは「愛知県の食材の豊かさを知ることができた!」、「切干し大根レシピを日頃の活動に取り入れていきたい!」等の感想がありました。



#### <海部地域>

「命の大切さを伝える食育・地産地消の取組について」をテーマに、八島まこも会代表の中山恵美賀氏から、真菰（まこも）を通じた地産地消・食育の取組について講演をいただきました。講演後は、食育推進ボランティアと関係者で、「地産地消」と「食育」をテーマにグループワークを行い、参加者の交流が深まりました。



## <知多地域>

ミツカンミュージアムの全館コースを見学し、ミツカンの酢作りの歴史や食文化の魅力に触れました。参加者からは、「次の活動に活かしていきたい」、「地元の食文化について体験しながら学べた」などの感想が寄せられました。



## <西三河地域>

「高齢者の食育」をテーマに、元岡崎市食生活改善推進員で介護ヘルパーの勤務経験を持つ千賀真理子氏から「高齢者の食事で大切なこと」などのお話をいただき、さらに、口腔ケア体操なども行われました。また、伊那食品工業株式会社の原勇治氏からは、「寒天」について講演をいただき、スポーツドリンクを介護食用の寒天製品4種類でそれぞれ固めたゼリーの食べ比べが行われました。



## <豊田加茂地域>

「地元のお茶のいいところを知る」をテーマに、豊田市のお茶農家である「高香園」の野場義尊氏から、豊田加茂地域のお茶の歴史や製法についてお話をいただきました。また、本格的にお茶を点てたり淹れたりする体験や簡単でおいしいお茶の淹れ方の紹介などもありました。



## <東三河・新城設楽地域>

「道の駅とよはしの楽しみ方」をテーマに、株式会社道の駅とよはし駅長の白井章雄氏から、特産品の開発などのお話をいただきました。また、豊橋調理製菓専門学校校長の鈴木良昌氏からは、地元農産物を使った飾り切りと美しい盛り付けのコツについて学びました。



## Ⅲ 2023年度の主な取組の状況

2023年度に県や関係団体などが実施した食育の取組で、報告のあった256件から項目ごとの主な取組55件を掲載しました。

### 食を通じて健康な体をつくる取組

乳幼児期から高齢期にいたるまで、ライフステージに応じた「ライフスタイルに即したバランスのとれた食生活の実践」、子供の肥満予防や思春期からの適正体重の維持の推進、職場等での健康指導など「生活習慣病や適正体重維持の推進」及び「食の安全・安心に関する信頼の構築」に取り組みました。



#### 1 ライフスタイルに即したバランスのとれた食生活の実践

##### 〇歳児歯科健康診査の集団栄養指導

稲沢市

●実施時期：2回 / 月

●対象者：市内に住む歯科健康診査対象児の保護者

●内容

歯科健康診査に来た乳児の両親に、口腔機能の発達からみた離乳食の進め方や意識してほしいこと等を伝え、毎日の食生活に活かしてもらうことを目的としています。

離乳食の時期別食材の大きさ一覧のパネルと口腔機能の発達の資料を使用して集団の栄養指導を行うとともに、個別で相談がある方にも栄養相談を実施しています。

●活動の成果、今後の課題

集団栄養指導をしている際は、「なるほど」と頷きながら熱心に聞いてくださる方が多いです。また、個別での栄養相談後はすっきりとした表情をされている方が多いです。

今後の課題は、集団栄養指導をした結果、それを行動に移したか等のアウトプットができていないことが課題であると感じています。

●新規取組について

歯が生え始めた時期から歯科健診や歯磨きをきちんと行うことが重要であるため、今年度より新規に実施しました。



取組項目：乳幼児健診や地域の子育て支援の場を活用した実践促進（取組場面：地域）

## 食育に関する子育て講座の開催

刈谷市中央子育て支援センター・南部子育て支援センター・北部子育て支援センター

●実施時期：2023年6月2日・11月9日・2月20日

●対象者：未就園児をもつ保護者

●内 容

7か月から就園前のお子さんをもつ保護者対象に『楽しく食べる食育で子どもが伸びる！一食を楽しむ5つのポイント』という演題で開催しました。11月はオンライン開催、6月、2月は託児あり対面講演で行いました。

●活動の成果、今後の課題

子育て中の保護者に理論と実践事例をもとに、五感で楽しむ食育のお話や子どもが食べものを好きになるためには子どもが食のプロセスに関わることの大切さ、おなかのすくリズムをつくることの大切さ等についてお話をしてくださいました。

参加者からは「食育は子育ての基礎だということが分かりました」「子どもが食事をしている間に自分は家事をしていることが多いので、一緒に食事をするように心がけたいと思いました」「食べることは脳や体をつくる大切なことだと改めて理解しました」などという意見が聞かれました。



取組項目：乳幼児健診や地域の子育て支援の場を活用した実践促進（取組場面：地域）

## 教科等と連携した給食の時間における指導の充実

「教科等と関連した給食の時間における食に関する指導例」の作成

愛知県栄養教諭研究協議会

●実施時期：通年

●対象者：県内の公立学校に勤務する栄養教諭・学校栄養職員

●内 容

学校給食は、「生きた教材」です。学校給食の献立や食品などを教材として、教科で学習したことの振り返りをしたり、学習内容を深めたりすることができます。日々の給食時間に、学級担任が教科と連携した食に関する指導を行うことができるよう、「保健体育（保健領域）・保健分野」について指導資料を作成しました。

栄養教諭は、学級担任がこの資料を活用して、学校給食を教材にした効果的な指導をできるように助言をしたり、掲示資料や実物を提供したりするなど、学校における食に関する指導を推進していきます。

●活動の成果、今後の課題

作成した指導資料は、愛知県栄養教諭研究協議会のホームページ内に掲載し、県内栄養教諭が必要に応じて活用することができるようにします。この資料を活用し、教科等と連携した給食の時間における指導を充実させていきます。

今後も、学級担任と栄養教諭が連携して、給食の時間における食に関する指導を推進していきたいと考えています。

●デジタル化の推進について

紙媒体で、資料を提供するのではなく、ホームページに掲載し、必要な時に取り出して活用することができるようにしました。



取組項目：学校給食の「生きた教材」としての活用、学校全体で食育に取り組むため、給食と各教科等を関連づけた指導計画の作成と指導の充実（取組場面：学校）

## 地元特産の「赤シソ」を使った食育授業の開催

碧南市

- 実施時期：2023年6月14日
- 対象者：碧南市立鷺塚小学校3年生102名
- 内容

碧南市の「赤シソ」は、生産量が県下1位、全国でもトップクラスを誇ります。その赤シソの圃場に近い市立鷺塚小学校で、特産の赤シソをより身近に感じてもらうための食育授業を開催しました。

講師を務めるのは、赤シソを生産するJAあいち中央碧南しょうが・しそ部会の生産者と日本料理店小伴天の店主で、学校給食を担当する栄養教諭が作成した動画を見せながら、赤シソの収穫方法や出荷する過程などを説明しました。また、赤シソジュースの作り方を実演してみせたり、ジュースやゼリーの試食を行ったりした後、児童が授業の感想を発表しました。

### ●活動の成果、今後の課題

身近にある赤シソが特産であることを子供達に周知でき、赤シソの美味しさを実感してもらえました。これを子供達が持ち帰り、少しでも食卓に並ぶようになればと思います。

しかし、赤シソを使った料理は限られているので、赤シソの活用法を増やすことが今後の課題です。次年度以降も赤シソを寄贈するなどして、食育活動を継続していきます。



取組項目：地域人材を活用した体験的な活動の充実(取組場面：学校)

## スポーツ栄養セミナー

公益社団法人愛知県栄養士会

- 実施時期：2023年10月15日
- 対象者：スポーツに取り組んでいる中高学生、学生及び県民
- 内容

成長期にあるアスリートが自分にあった望ましい食事のポイントを理解できることを目的としました。体作りをするアスリートが食について日々悩んでいることを少しでも解決するため、質疑応答の時間を長くとるセミナー形式で実施し、「成長期に絶対知っておきたい!!パフォーマンスをあげるための食事と栄養」及び「『食べる』ことも能力」のテーマで2人の演者から提案をいただきました。

刈谷市産業振興センターを会場として、小中学生や学生及びスポーツ関係者の方が44名、栄養士・管理栄養士が69名の参加がありました。

### ●活動の成果、今後の課題

アンケート結果には、「自分の成長とスポーツに必要な食について多くの知識を得る機会となった」など、有意義な会であったとの評価をいただきました。

今後は本県で開催されるアジア競技大会を視野に、食からアスリートのコンディショニングや最高のパフォーマンスを支えられる取り組みが展開できるよう検討いたします。



取組項目：食育だより等各種お便り、学校給食試食会、献立募集や料理教室、食物アレルギーに関する情報、就学時健診等での各種学校給食に関する情報提供等を通して小中学校から家庭に向けての食育促進(取組場面：地域)

## 野菜をたべよう！チャレンジ

豊橋市

●実施時期：2023年9月14日～11月6日

●対象者：市内小学校児童及び家庭

●内 容

市内小学校（2校）にて、野菜摂取量が推定できる機器「ベジチェック®」を活用した野菜摂取量増加を目指すチャレンジを行いました。

- （1）チャレンジ前に機器を学校に設置し、児童の野菜摂取量を見える化しました。
- （2）各学校の栄養教諭により、野菜の大切さと、野菜摂取量を増やすコツを伝える授業を実施しました。児童はそれぞれ目標と戦略をたて、2週間の野菜摂取量増加にチャレンジしました。
- （3）チャレンジ後に再び機器を学校に設置し、野菜摂取量の変化を確認し、児童同士で振り返りを行いました。
- （4）家庭に今回の取組をお知らせしました。

●活動の成果、今後の課題

ICT機器により野菜摂取量データを取得することで、児童は具体的な数値目標をたてることができ、効果検証も可能となりました。また測定そのものが児童にとって楽しい体験となり、前向きに野菜摂取に取り組んでいたようで、学校や各家庭でも児童の行動変容が確認できました。

今後も継続し、実施校数・参加児童を増やしていきます。



取組項目：食育だより等各種お便り、学校給食試食会、献立募集や料理教室、食物アレルギーに関する情報、就学時健診等での各種学校給食に関する情報提供等を通して小中学校から家庭に向けての食育促進（取組場面：学校）

## 健康朝食メニュー「簡単！野菜もプラス！朝ごはん～元気のスイッチを入れよう～」（公募）

尾張旭市

●実施時期：2023年11月15日～2024年1月9日

●対象者：小中学校生徒及び一般

●内 容

朝食の欠食や孤食を防ぎ、朝食の大切さを再確認して、毎日朝食をとるきっかけとなるように「簡単！野菜もプラス！朝ごはん～元気のスイッチを入れよう～」というタイトルで、市内小中学校、一般からの朝食のメニューを募集しました。

野菜をたくさん取り入れ、簡単で作りやすく、三色食品群による栄養バランスが取れたメニューを厳選し、7件のメニューを選出・表彰しました。入賞したメニューは2024年3月に展示し、上位2件のメニューはレシピを配布しました。

市ホームページURL：

<https://www.city.owariasahi.lg.jp/site/healthycity/28984.html>

●活動の成果、今後の課題

長期休暇の宿題等に該当していないにも関わらず、自ら積極的に取り組む小中学生の応募がありました。一般については、新たに保育園や親子イベント等でも周知しましたが応募数の増加につながらなかったため、今後、周知方法を検討しながら、積極的に電子申請・応募用紙での応募を受け付け、多くの人に朝食について考える機会を提供していきたいと考えます。



市長賞



教育委員会教育長賞



取組項目：「早寝早起き朝ごはん」運動の実践促進（取組場面：地域）

## 食育講演会

みよし市

- 実施時期：2024年1月30日
- 対象者：市民
- 内容

第3次みよし市食育推進計画に基づき、食を通じた「人づくり 健康づくり 環境づくり」とする基本理念の実現を目指し、市民一人ひとりが食の大切さを実感し、生涯を通してより良い食生活を築けるよう、そのきっかけづくりとして開催しました。

講師は、雪印メグミルク株式会社の方にチーズをテーマにして講演を行っていただきました。

### ●活動の成果、今後の課題

今回の講演会には、チーズについて学びたい方や、そもそも食育に関心のある方など、様々な考えを持って参加していただきました。そのため、本市での食育についての取組について周知する良い機会になったと感じています。

### ●連携について(連携先：雪印メグミルク株式会社)

例年、集客に苦労していたため、例年と異なる内容の講演を行いたく、試食を含めた講演を実施している雪印メグミルク株式会社に依頼をしました。



取組項目：若い世代への啓発や講演会、職場の給食施設への巡回（取組場面：地域）

## SNSを活用した普及啓発

名古屋市

- 実施時期：2023年10月～12月
- 対象者：名古屋市在住もしくは通学在勤
- 内容

食に関する課題の多い若い世代を中心に、SNS等を活用した3つの啓発を実施しました。

### ① SNSを活用した「バランスめしコンテスト」

若い世代に少しでも手軽に栄養バランスのとれた食事をとってもらえるよう、きいろ・あか・みどりの3色の食品グループの食材が揃った栄養バランスの良い「“バランスめし”アイデアレシピ」をSNS（InstagramもしくはX（旧：Twitter））で募集しました。

### ② インターネット広告の配信

①の動画広告を配信（YouTube、X（旧：Twitter）、Instagramにて）しました。

### ③ インフルエンサーを活用した周知啓発

①の告知及び受賞作品について、インフルエンサーによるSNSへ投稿を実施しました。

### ●活動の成果、今後の課題

コンテスト開催後も、入賞レシピを名古屋市の食育ウェブサイト「なごや食育ひろば」で紹介し、若い世代への広報にも活用しました。本ウェブサイト内「バランスめしコンテスト」の閲覧数が昨年比で伸び、関心が寄せられていると考えていますが、コンテストの参加者の伸びは鈍化しており、コンテスト以外の啓発方法を検討していく必要があります。



取組項目：若い世代への啓発や講演会、職場の給食施設への巡回（取組場面：地域）

## モグモグごっくん教室、カミカミ歯っぴー教室

春日井市、春日井市食生活改善協議会

- 実施時期：2023年4月～2024年3月
- 対象者：市民
- 内 容

食事の基礎である離乳食について、楽しく食事をするを大切にする教室を行うことで、保護者が前向きに取り組むことが出来るよう促します。また、離乳開始時期から完了時期まで切れ目ない教室を行い、保護者の困難感を軽減させ、乳幼児のすこやかな成長につなげます。対象者について、モグモグごっくん教室は市民で4～6か月児（第一子）の保護者、カミカミ歯っぴー教室は市民で8～11か月児（第一子）の保護者です。



### ●活動の成果、今後の課題

2023年4月～2024年1月のアンケート結果より、教室の満足度について、モグモグごっくん教室では「よかった」が87.0%、「ふつう」が13.0%、カミカミ歯っぴー教室では「よかった」が86.6%、「ふつう」が13.4%でした。また、両教室とも「よくなかった」は0%でした。

アンケートの自由記載欄には「参加してよかった」「見本が見られて参考になった」「不安が軽減した」「自信が持てた」「楽しく始めたい」など離乳食に対する不安が軽減したという意見が多数みられました。



取組項目：母親教室等での健康教育や情報提供、授乳期以降の食の重要性の啓発  
(取組場面：地域)

## マタニティクラス初期編

東郷町

- 実施時期：通年(各月)
- 対象者：妊婦及びパートナー
- 内 容

目的：お産を中心とした母親の不安解消、母子の疾病予防など母子がより健康的に生活していけるよう支援を行うことや、パートナーも妊娠中から育児にかかわる意識を高め、夫婦で協力して育児ができるよう支援を行うことを目的としました。

実施場所：いこまい館2階 和室、調理室

実施内容

保健師：妊娠中の身体、産後の生活、妊婦体験 等

管理栄養士：食生活指針、つわりの食事、妊娠高血圧症候群・貧血について、カルシウム・食物繊維について、魚について、食中毒 等

### ●活動の成果、今後の課題

参加者からは「妊娠期の食事について見直すきっかけになった」といった声が聞かれ、パートナーの方からもバランスの良い食事に対する意識を持ってもらう良い機会となりました。

コロナ禍前は出汁や素材の味を生かした料理の試食を行っていたため、今後は2023年度の活動に加え試食を再開することを検討しています。



取組項目：母親教室等での健康教育や情報提供、授乳期以降の食の重要性の啓発  
(取組場面：地域)

## 健康支援型配食サービスを活用し、会食しながら学ぶ栄養講話の開催 ～いきいきランチ会～

東海市

- 実施時期：2023年7月～2024年3月
- 対象者：通いの場等で活動している高齢者
- 内 容

東海市は65歳以上で低栄養傾向の方が国と比べて多いことから、高齢者の方を対象に食事バランスや適量を学ぶ機会をつくり、フレイルを予防することが大切であると考え、通いの場で配食弁当を教材としたランチ会を開催し、実際に適量を食べていただきながら、フレイル予防の講話を行いました。

配食弁当の内容は、タンパク質が摂れるバランスメニュー、噛み応えのある食品を加えたメニューとしました。ランチ会は3か月以上の間隔をあけて、2回実施し、1回目の体験によりその後の食行動の変化について2回目にアンケートをとり、確認しました。

### ●活動の成果、今後の課題

24会場、各2回、延べ646名が参加しました。2回目の講話後のアンケートでは、約8割の方が弁当を活用した健康教育の実施について、大変良かった、良かったと回答し、また1回目のランチ会以降、バランス意識するようになったと回答された方は6割で、食を意識するよい機会となりました。

参加された方は70、80歳代が約9割で、一人暮らしの方もおり、久しぶりに魚を食べた、みんなと食事を食べるとおいしいなど共食による効果もみられました。次年度も実施予定です。

### ●新規取組について

東海市は要介護認定率が近隣市町に比べて高く、また、65歳以上の低栄養傾向の方（BMI $20 \leq$ kg/m<sup>2</sup>）は、国と比べて多い状況です（男性：東海市12.5% 国12.4%、女性：東海市21.2% 国20.7%）。低栄養予防、フレイル予防のため、配食弁当を教材として活用し、普段の食事を見直すきっかけの場をつくることで栄養バランスや減塩等に配慮した食生活を実践する人を増やすことができると考えました。



取組項目：食育関係者による料理教室や市町村の高齢者向け栄養改善教室などの実施拡大  
(取組場面：地域)

## 高齢者への高血圧予防レシピ配布と試食

碧南市

- 実施時期：年3～4回
- 対象者：介護予防事業に参加している高齢者
- 内 容

高齢者が介護予防のために定期的に集まる会において、管理栄養士が講話をした後、食ボランティアが考案したレシピを紹介するとともに試食を実施しています。

今年度は高血圧予防に関する講話の後に、高血圧予防レシピを紹介し、カリウムを多く含み減塩効果が高まる手作りデザートを試食を行いました。

### ●活動の成果、今後の課題

高齢者の食習慣の見直しと高血圧予防についての周知の機会になり、デザートを楽しんで食べながらレシピに関心を持っている様子がみられました。

### ●連携について(連携先：碧南市健康づくり食ボランティア協議会)

食ボランティアが生活習慣病予防等のテーマで勉強会や献立作成・調理実習を行い、市民が集まる事業の中でレシピ紹介や試食会等を実施することで栄養改善につなげています。



取組項目：食育関係者による料理教室や市町村の高齢者向け栄養改善教室などの実施拡大  
(取組場面：地域)

## 2 生活習慣病予防や適正体重維持の推進

### 「食育だより」リーフレットの作成及び配布

小牧市

- 実施時期：夏休み前(ただし学校の都合に合わせ変更あり)
- 対象者：市内全小学校5年生
- 内 容

思春期にさしかかる児童に、自分の体格を知り、将来にわたり健全な食習慣を身につけるためにリーフレットを配布しています。

学校、家庭で話題にして、何度も見返すことで現在肥満ややせの問題のある児童も、望ましい食習慣を知り、生活習慣病予防をすることができます。こどもたちが大人になる前の段階で、自分で自分のライフスタイルに合わせ、必要なバランスのとれた食事を知り、選択する力を身につけることを目的としています。

#### ●活動の成果、今後の課題

主に体格について、将来なりたい姿などと絡め、望ましい食生活を知る目的のリーフレットを作成していましたが、体格についてポピュレーションで話すことはとてもセンシティブで、主に望ましい食習慣を知り、自分自身で食事を選択する力をつけるものに内容を変更しました。

学校側の受け入れを待ち、学習教材としてデジタル化を検討しています。



取組項目：学校関係者の連携による肥満の予防、肥満傾向の児童生徒に対する効果的な指導の実施（取組場面：学校）

### 第13回もっと噛んで歯ッピーレシピコンテスト

一般社団法人愛知県歯科医師会

- 実施時期：2023年6月12日～2023年9月6日
- 対象者：県内在住もしくは在勤、在学の方
- 内 容

生涯おいしく楽しく食べ、健康を維持するためには、歯や口が健康でよく噛んで食べられることが重要です。愛知県歯科医師会では、栄養バランスを考慮した「よく噛んで食べるように工夫を凝らしたオリジナルレシピ」作品を募集し、広く県民に歯科と食育の関わりについて普及啓発することで「8020健康長寿社会」を目指しています。レシピコンテストの応募部門は「キッズ」、「地産地消」、「高齢者向け」の3部門で募集しました。

愛知県歯科医師会HPアドレス<https://aichi8020.net/>

#### ●活動の成果、今後の課題

コンテストは3部門合計で466点の応募がありました。2024年1月21日に愛知県歯科医師会館で行った「令和5年度食育推進事業表彰式・講演会」では入賞者12名と1団体の報告、入賞作品の紹介、総括を発表し、県民を対象として食育推進に向けた講演会を開催しました。

次年度からは幅広く作品を募るため、個人応募の他にグループでの応募も出来るようにします。また、連携する諸団体と協力して噛むことの大切さと健康との関係をさらに広く県民に周知していきたいです。



取組項目：むし歯・歯肉炎予防指導や歯みがきの習慣づけ、歯の役割や、よく噛む大切さ等の啓発（取組場面：地域）

## 保育園歯科健康教育

長久手市

- 実施時期：2024年1月から2月
- 対象者：市内保育園年長または年中児
- 内容

幼児期から歯の健康についての大切さを知り、生涯にわたって歯の健康について取り組むことができるように、市内保育園児を対象とした健康教育を実施しました。歯の大切さ、6歳臼歯、歯磨きについて、歯科衛生士による講話を実施しました。

### ●活動の成果、今後の課題

普段、歯ブラシの使用がない園が多いため、安全面等を考えて、歯ブラシを使用しての歯磨き指導は見合わせました。家庭生活中正しい歯磨き等を継続してもらえるよう、保護者への教育内容の還元を十分に行う必要があると考えています。

### ●デジタル化の推進について

健康教育終了後の保護者向けの配布物を、保育園のアプリを通じて配信しました。



取組項目：むし歯・歯肉炎予防指導や歯みがきの習慣づけ、歯の役割や、よく噛む大切さ等の啓発（取組場面：保幼）

## 野菜の手ばかり目ばかり

半田市

- 実施時期：通年
- 対象者：市内公立幼稚園・保育園・こども園等の保護者または親子、市内児童センター・子育て支援拠点に來所する保護者または親子

### ●内容

半田市国民健康保険の特定健診でメタボリックシンドローム該当者が非常に多いことから、若年層からのメタボ予防を推進するため、野菜の摂取に着目しました。野菜の適正な摂取量や選び方、栄養バランスなどの正しい知識の普及を目的としています。

#### 【参加者の流れ】

- ①理想とされる350gの野菜をフードモデルから選ぶ。
- ②選んだ野菜を計量し、必要量（350g）との過不足を体感する。
- ③淡色野菜を秤から下ろし、緑黄色野菜が350g中の1/3（120g）を占めているか確認する。
- ④栄養士・食生活改善推進員から、アドバイスを受ける。

### ●活動の成果、今後の課題

実施場所を保育園等に設定したことで、若い世代へのアプローチができました。さらに、育児や家事等、自身の健康は後回しになりがちな保護者にとって、保育参観日などの行事の一環としての実施は“参加しやすさ”にも繋がったと感じています。

単発の事業であるため、健康への関心度によっては習慣的な行動変容に繋がらない可能性もあるため、来年度に向けてやり方の検討をしていきたいと考えています。



取組項目：地域特性を踏まえた食生活の改善のための継続的な食環境づくりの推進（取組場面：保幼）

## 三河武士ごはん

岡崎市

- 実施時期：2023年9月から提供開始
- 対象者：市民
- 内 容

健康的な食事ができる環境づくりの一環として、健康長寿であった家康公が好んで食べていたと言われる、旬の地元食材や豆味噌を使用し、主食・主菜・副菜の揃った食事である「三河武士ごはん」を提供できる店舗を募集、9月から20店舗で提供を開始しました。店舗ではポスターやポップを掲示し案内するとともに、特製コースターと一緒に食事を提供することで喫食者への啓発を実施しました。また、SNS、YouTube、ケーブルテレビ、地域情報掲載誌等に様々な媒体を活用した周知啓発を行いました。

URL：<https://www.city.okazaki.lg.jp/300/304/p038991.html>

※「三河武士ごはん」の定義：食文化史研究家 永山久夫氏監修

### ●活動の成果、今後の課題

市内20店舗で三河武士ごはんの提供開始ができ、様々な媒体や機会を活用し啓発を行いました。飲食店からは、情報誌や啓発動画を見て来店されたお客様もいると伺い、啓発に一定の効果はあったと考えています。引き続き、提供店舗を募集し、店舗数増加を図ります。



取組項目：地域特性を踏まえた食生活の改善のための継続的な食環境づくりの推進  
(取組場面：地域)

## 健幸モデル地区事業

豊橋市

- 実施時期：2023年8月1日～2023年11月12日
- 対象者：モデル校区の住民
- 内 容

向山校区と福岡校区を健康づくりの「モデル地区」とし、栄養改善や野菜摂取量増加など、食生活改善に向けた取組を実施しました。

- (1) 尿検査による住民の栄養調査を行い、地区の栄養状態を把握しました。
- (2) 住民向けセミナーや住民回覧にて栄養調査結果を報告しました。併せて栄養改善の重要性や、足りない栄養を補うための食材・メニューを紹介しました。
- (3) 地区内のスーパーと連携し、足りない栄養素を補える食材・メニューの提案や、野菜摂取量が推定できる機器「ベジチェック®」を活用した野菜摂取の啓発を行いました。

### ●活動の成果、今後の課題

尿検査キットやICT機器で栄養状態や野菜摂取量のデータを取得することで、市民の健康状態が見える化でき、「ナトリウムが多く、野菜も不足しています。野菜の量を増やしてカリウムを摂りましょう。」といった具体的な提案ができました。今後も、市民がPHRを取得・管理しやすい環境をつくり、市民の食生活改善につなげていきます。

### ●新規取組について

本市は糖尿病（予備群を含む）の割合が多いことが課題であり、市民生活のあらゆる導線上で行動変容に導く仕掛け・環境づくりを行っています。本事業もその一環です。



取組項目：地域特性を踏まえた食生活の改善のための継続的な食環境づくりの推進  
(取組場面：地域)

## 食育の日啓発キャンペーン「野菜を手軽に！ちゃちゃっとベジ」

知多市

- 実施時期：2023年6月
- 対象者：市民
- 内容

食育月間である6月に、「野菜を手軽に！ちゃちゃっとベジ」をテーマとした啓発活動を行いました。市保健センター及び市役所に、野菜レシピ、ポスター、のぼり旗等を掲示し、野菜摂取を呼びかけました。また、忙しい働き世代や料理に不慣れな方でも野菜がとれるように、時短かつ簡単にできる野菜レシピを食生活改善推進員から募集し、市ホームページへ掲載しました。

また、6月20日にはマックスバリュ知多新知店にご協力いただき、店頭にて啓発物品の配布とアンケート調査を実施しました。

### ●活動の成果、今後の課題

多くの方にレシピ等を手に取っていただき、市民の野菜摂取に対する意識づけのきっかけとなりました。また、アンケートの2021年度から大きな変化はなく、朝食での野菜摂取ができていないという課題がみられました。



取組項目：野菜摂取量が少ない背景の調査と摂取量増加の取組を多様な関係者へ拡充  
(取組場面：地域)

## 野菜を食べよう！スタンプラリーの開催

豊田市、豊田市食品衛生協会

- 実施時期：2023年8月1日～2023年8月31日
- 対象者：対象店舗で対象商品を購入者
- 内容

8月31日の「野菜の日」に合わせて、市民のさらなる野菜摂取を促進するため、豊田市産の農産物や加工品などが当たるスタンプラリーを実施しました。

- ・対象店舗で対象商品を購入することでスタンプを獲得
- ・スタンプ獲得数に応じて抽選の実施

### ●活動の成果、今後の課題

協力店舗市内54店舗、応募件数518件。

今年度新たに豊田市食品衛生協会と連携したことで、市民にとってのインセンティブに繋がる企画とすることができ、多くの参加者を集めることができました。

紙の台紙を使用して実施していましたが、集計・抽選作業などの事務作業に時間を要していたため、デジタル化ができるとういことです。

### ●新規取組について

野菜の日に向けた取り組みとして、コロナ禍では啓発物品とチラシを店舗に設置をしていましたが、市民にとってインセンティブに繋がり、より野菜摂取量を増やすことができるように意識付けを行い、たいと考え事業内容をスタンプラリー形式に変更しました。



取組項目：野菜摂取量が少ない背景の調査と摂取量増加の取組を多様な関係者へ拡充  
(取組場面：地域)

### 3 食の安全・安心に関する信頼の構築

#### 乳と卵の除去食の提供

岩倉市

- 実施時期：通年
- 対象者：乳と卵の食物アレルギーを有する児童生徒
- 内容

岩倉市では全ての児童生徒が給食時間を安全に、かつ、楽しんで過ごせるようにするため、国の「学校給食における食物アレルギー対応指針」や県の「学校給食における食物アレルギー対応の手引」に基づき食物アレルギー対応検討委員会を設置し、2017年2月に岩倉市の「学校における食物アレルギー対応の手引」を作成しました。これまでのアレルギー対応としては、飲用牛乳の提供中止・返金と詳細献立表の配布について行っていましたが、2017年9月より食物アレルギーの中でも対象者が多い、乳と卵の除去食の提供を開始しています。

- 活動の成果、今後の課題

2017年9月より乳と卵の食物アレルギーを有する児童生徒に対し、乳と卵の除去食の提供を開始しています。他の食物アレルギーについては、対応が必要な食数や保護者の要望次第で、今後の新たなアレルギー食対応についての検討をする必要があります。



取組項目：食物アレルギーへの理解促進や市町村教育委員会の食物アレルギー対応委員会の設置、危機管理体制の構築（取組場面：学校）



毎月19日は、おうちでごはんの日

## 食を通じて豊かな心を育む取組

家族や友人と楽しみながら食事をとることなど「食を楽しむゆとりの積極的な確保」、家庭での料理や作物栽培体験、都市と農村との交流など「体験や交流を通じた豊かな人間性の育成と食の理解促進」、郷土料理や伝統料理などの食文化の継承や食事作法の習得など「日本の食文化や郷土料理等の理解と継承」について取組を行いました。



### 1 食を楽しむゆとりの積極的な確保

#### 食育活動と保護者への啓蒙

知立市立高根保育園

- 実施時期：通年
- 対象者：園児とその保護者
- 内容

食えることに興味関心をもってもらいたいという目的から、年間を通して様々な食育活動を行っています。野菜栽培や調理の簡単な手伝い、ミニクッキングや出汁の味見など、調理員との関わりを大切にしながら取り組んでいます。取り組みの内容や子どもの様子を保護者とも共有したいという思いから、様子写真を玄関に掲示したり、「食育だより」を月に1回保育ICTシステムを使って保護者に配信したりしています。

- 活動の成果、今後の課題

外国にルーツをもつお子さんが園児の約半数を占め、送迎にベビーシッターを利用している家庭が多いため「食育だより」を配信することで、園の様子を知ってもらえたり、親子の会話のきっかけになったりしています。今後も継続していきたいと考えています。

- 連携について(連携先：JAあいち中央)

食育活動の1つとして、農業体験事業のバケツ稲づくりを実施しました。JAの方が来園して、苗植え・脱穀・粃摺りなどの指導を年長児対象に実施していただきました。その様子も掲示とアプリで保護者に啓蒙しました。



取組項目：給食や弁当を活用した食への関心の向上（取組場面：保幼）

## 教科と関連させた指導資料の作成

蟹江町

●実施時期：2023年11月

●対象者：蟹江町内小学校3年生の児童

●内 容

食を支える人や食べ物、環境に感謝することのできる児童の育成を目的として、農家の方と調理員、運転手、配膳員へのインタビュー動画を作成しました。学級担任等が活用できるよう、小学校3年生の道徳「心のこもった給食」と関連させた内容にし、各小学校へ提供しました。また、指導前後で児童へアンケート調査を行いました。「食べ物を育ててくれた人に感謝して給食を食べていますか」の問いに「感謝している」と回答した児童は指導前の71.3%から指導後は83.7%に12.4ポイント増加しました。

●活動の成果、今後の課題

ICTを用いて食に関わる人々の生の声を伝えたことで、児童は給食に込められている思いや苦勞を知ることができました。そして、感謝の気持ちを表すために食べ残しを減らそうとしたり、食事のあいさつに気持ちを込めたりするなど児童の様子に変容が見られました。一方で、苦手な食べ物を食べる児童の割合は大きな変化が見られなかったため、継続して指導を行っていきたいと思います。

●新規取組について

家族編成やコロナ禍での社会の変化の中で、地域の食にふれる機会が減り、食を支える人々や食文化について理解を深めることが難しくなっています。そこで、「豊かな心をもった児童生徒の育成—食べ物を大切に作る心を育む活動を通して—」というテーマで2023年度から3年計画で研究を行うことにしました。



取組項目：学校給食による感謝の心や美味しいと感じる味覚の育成、会食の楽しさ等の実感（取組場面：学校）

## お昼ご飯を作ってみよう（児童館調理実習）

飛島村、飛島村健康づくり食生活改善協議会

●実施時期：2023年9月2日、12月27日、2024年3月27日

●対象者：村内在住の小中学生

●内 容

調理実習を通じて食生活改善推進員と小中学生の交流を図ることが目的です。

内容：調理実習「おにぎり・ポテトサラダ・けんちん汁又は味噌汁」

●活動の成果、今後の課題

9月、12月の2回開催を予定していましたが、毎回定員を超える申し込みがあり大変好評のため実施回数を増やしました。



取組項目：家族団らんの大切さや、家族・友人と一緒に食事をとることを呼びかけ（取組場面：地域）

## 2 体験や交流を通じた豊かな人間性の育成と食の理解促進

### おいしくベジたべ教室

春日井市、あい農パーク春日井（春日井市農業ふれあい公園）

- 実施時期：2023年7月30日
- 対象者：市内在住の小学生とその保護者
- 内 容

親子で参加できる収穫や料理などの体験を通し、家族の絆を深めると共に家庭での食育の推進や子どもの偏食改善を図ることを目的として、本教室を開催しました。

春日井市の市制80周年記念事業の一つとして、あい農パーク春日井と連携し、野菜の収穫体験と料理教室を実施しました。対象は食への関心が比較的高い学童期に設定し、保護者も含めて啓発を行いました。レシピの考案及び料理教室の講師は、Instagramのフォロワー数10万人超えのインフルエンサーである「学生料理家 暖（のん）」さんに、調理補助は春日井市食生活改善協議会に依頼しました。

#### ●活動の成果、今後の課題

定員12組中、申込数は12組、当日の参加は11組でした。教室のアンケート結果では、小学生・保護者共に教室への満足度は高く、「収穫体験と料理教室が同時にできて良かった。」等の意見がありました。また、95%以上の参加者が「教えてもらった料理を家でも作ろうと思う」と回答しており、野菜を食べる意欲に繋げることができたと考えられます。



取組項目：家庭での食とふれあう機会の大切さの啓発（取組場面：地域）

### 保育園さつまいも収穫体験

清須市

- 実施時期：苗植え及び収穫 5月～10月
- 対象者：保育園児
- 内 容

保育園児が、農作業を通じ野菜や畑に親しみを持つとともに感謝の心を育むことを目的として、清須市一場にある農業体験塾の畑を利用し、さつまいもの収穫体験を行いました。農業体験塾ボランティア及び生徒が講師として説明するとともに園児の農作業の補助をしました。収穫したさつまいもは、園児が各家庭に持ち帰りました。

#### ●活動の成果、今後の課題

土にふれあい農作業の体験をすることで収穫の喜びを体験できます。収穫物を園児が各家庭に持ち帰ることで野菜を身近に感じ、感謝の心を育む機会となっています。



取組項目：保育所等での栽培・調理体験等の拡充や地域人材の活用（取組場面：地域）

## 食育・クッキング

よしいけ保育園（高浜市）

- 実施時期：通年
- 対象者：年中・年長
- 内 容

本園では、毎日の食に関することや、四季を通しての特別な行事を大切にしています。ほぼ毎月、食や食生活をテーマにした話をします。（本年度は 食事マナー・食べ物の大切さ・噛むことの大切さ・秋の食べ物・夏野菜・3色食品群・早寝、早起き、朝ご飯・消化とうんちなど）

また、月に一度のクッキングも行います。（フルーツサンド・味噌汁とおにぎり・カレーライス・ホットケーキ・月見だんご・ピザトーストなど）

食の行事は、秋には、さんまを解体するところを見ることや、炭火で焼いて香りも楽しんださんまパーティーと落ち葉からじっくり焼き上げた焼き芋パーティーを行ないました。五感で食を楽しむ工夫をしています。

### ●活動の成果、今後の課題

一年間の食育活動を通して、子どもたちは様々なことに興味を示してくれました。クッキングでは、包丁の使い方などルールを守りつつ、みんなで協力して作ることを学びました。また、各々で工夫出来ること（トッピング）は自由に楽しく取り組みました。みんな、やりたい気持ちが先走りになることがありました。仲良くできたり、譲り合いができたりする工夫が今後の課題です。



取組項目：保育所等での栽培・調理体験等の拡充や地域人材の活用（取組場面：保幼）

## 栽培・収穫体験を通じて、食べ物を身近に感じよう！

蒲郡市

- 実施時期：2023年5月～11月
- 対象者：蒲郡市内公立保育園（15園）3～5歳児
- 内 容

野菜類の栽培・収穫体験と収穫した野菜類を実際に園で調理して食べる経験を通じて、食に対して興味を持ち、大切さを知ってもらうことを目的として実施しました。

野菜栽培では主に夏野菜（ピーマン、きゅうり、ミニトマト、オクラ、なす等）やさつま芋を育てて、収穫後は業務員さんや調理員さんに調理をしてもらい、みんなで喫食しました。

また、園によっては地元農家さんの協力による稲作体験や、焼きいも体験を実施しました。

### ●活動の成果、今後の課題

野菜の世話をする事でどのように育つか知り、身近に感じることで野菜が苦手な子も少しだけ食べてみようと思ってもらえるようになりました。地元農家さんの協力による食農体験では、地域の人との世代間・地域間交流をする機会にもなっています。



取組項目：保育所等での栽培・調理体験等の拡充や地域人材の活用（取組場面：保幼）

## 自立クッキング

愛西市食育推進専門部会

●実施時期：2024年1月30日（参加者11名）、  
2024年2月14日（参加者17名）

●対象者：市内高校3年生

●内容

近年、高校を卒業してから、進学や就職を機に一人暮らしを始める方が多くなっています。そこで一人暮らしを始めてもバランス良く食事を摂ってもらうために産業振興課と共同で「自立クッキング」を開催しています。

今年度は愛西工科高等学校の3年生11名、佐屋高等学校の3年生17名の参加がありました。

当日は参加した高校生が、主食・主菜・副菜・汁物がそろった食事を、食生活改善推進員の皆さんの助けを得ながら調理しました。その後、喫食中に朝食の大切さやバランスの良い食事について管理栄養士から講義を行いました。

●活動の成果、今後の課題

事業後に行ったアンケートでは、参加した高校生から「楽しかった」「とても良い取組だと思った」という意見が聞かれました。また、参加者28名中25名（約90%）がバランスの良い食事を実践できそうだと感じたと回答し、バランスの良い食事を実際に調理したことで意識を持ってもらえたのではないかと感じています。



取組項目：親子や高校生を対象とした料理教室等による健康管理の実践促進(取組場面：学校)

## 第1回あいち食農教育表彰

愛知県農業協同組合中央会

●実施時期：通年

●対象者：愛知県内の小中学校等

●内容

愛知県教育委員会とJAグループ愛知との食育に関する連携協定の一環として、「子どもの心」と「体」の健康に資する農業体験、農業生産者、JA、行政や企業等との連携、その他農業理解につながる食育の推進等、食と農の大切さを学ぶ活動（食農教育活動）を実践している学校を表彰するものです。

また、その成果を広報することによって、食農教育活動の更なる活性化を図り、もって、食と農で持続可能な未来づくりに貢献しようとするものです。

●活動の成果、今後の課題

県内小中学校より21校から22件の応募がありました。3月に実施した表彰式では、入賞校から活動の内容を発表して頂くなど、優良事例の共有も行いました。次年度以降も継続する予定であり、同表彰制度のさらなる周知を行います。



取組項目：生産者等と学校の連携による計画的な体験学習の環境づくり(取組場面：学校)

## あいちの味覚たっぷり！わが家の愛であ朝ごはんコンテスト

愛知県教育委員会保健体育課、公益財団法人愛知県学校給食会、東海学園大学

- 実施時期：2023年10月22日
- 対象者：小学校(義務教育学校(前期)を含む)、特別支援学校5・6年生
- 内容

地元の食材や郷土料理を取り入れながら、家族でおいしく食べる「愛であ朝ごはん」の献立づくりや調理を通して、家族で望ましい食生活について一緒に話し合ったり、家族の絆を深め合ったりすることをねらいとしています。テーマを、昨年までと引き続き「地元の食材や郷土料理を取り入れた家族の愛を感じる愛であ朝ごはん」としました。本選では、予選を通過した10名の児童が、実際に60分間で調理をしました。女子栄養大学および女子栄養大学短期大学部学長の香川明夫先生を審査員長に迎え、5名の審査員が試食して出来栄を審査しました。



### ●活動の成果、今後の課題

9月14日に予選を行い、10月22日に本選を開催しました。各校の夏季休業中の宿題のあり方が変わり、応募学校数254校、応募総数7,464点と数は減りましたが、提出されてきた献立は力作ぞろいでした。今後も、食の知識や調理技術の習得、食事を作る人への感謝の気持ちを育成するため、コンテストを開催していきます。



取組項目：調理実習や料理コンテスト等を通じた食の知識や調理技術の習得、食事を作る人への感謝の気持ちの育成（取組場面：学校）

## 親子農業体験教室・親子農作物収穫体験教室

刈谷市

- 実施時期：2023年4月～2024年2月
- 対象者：市内在住の3歳から小学生までの子供を含む親子
- 内容

農作物の栽培や収穫を通して、農業への親しみと食の理解促進を目的として開催しました。

- 東境地区 4月～7月スイカ・スイートコーン植付けや収穫  
9月～11月ジャガイモ・ダイコン・サニーレタスの植付けや収穫
- 小垣江地区 5月、9月サツマイモ・落花生の植付けや収穫  
6月タマネギ・ジャガイモの収穫（前年度植付け）  
11月タマネギの植付け
- 西境地区 6月25日スイートコーン、枝豆、ピーマン等の収穫  
11月26日サツマイモ、人参、大根等の収穫

### ●活動の成果、今後の課題

親子と農家の方が協同して植え付けから収穫の体験を行い、農作業を体感していただきました。体験教室を通して、地元特産物や食に関する理解を深めるとともに、農業への関心を深めることができました。



取組項目：教育ファーム、酪農教育ファーム、食農教育、市民農園、農業体験農園などの取組推進（取組場面：地域）

## 半田市6次産業化農業者支援プロジェクト

半田市

- 実施時期：通年
- 対象者：半田市を中心とした知多半島の農家と市民
- 内容  
農業者支援が主な目的のプロジェクトで、農家PRのためのパネル作成やSNSでの情報発信、マルシェなどのイベント開催などを行っています。これらの活動が、地域の大人から子どもまで多くの方々に地元の農業を知ってもらう機会となっています。
- 活動の成果、今後の課題  
農家同士や農家と他業種に繋がりができ、コラボメニューが生まれています。地域農業の市民認知度はまだまだ低く、引き続き魅力発信に取り組んでいきます。
- 新規取組について  
農家同士のつながりや農家と市民の交流の場が少ない、地域農業の市民認知度が低い等の課題があり、農業マルシェ開催等による課題解決に向けた取り組みを始めました。



取組項目：交流モデルルートや産物などの地域資源の情報発信（取組場面：地域）

## 3 日本の食文化や郷土料理等の理解と継承

### パートナーシティについて知ろう！福島県の郷土料理の提供

豊橋市

- 実施時期：2023年6月
- 対象者：豊橋市立小中学校及び特別支援学校児童生徒
- 内容  
豊橋市とパートナーシティである福島市との交流を図るため、豊橋市立小中学校・くすのき特別支援学校にて、学校給食で福島市にゆかりのある郷土料理を提供しました。  
提供献立は、福島市の特産品である凍み豆腐が使用された「ひきないり」と、福島県の郷土料理でお祝いの席で使用される「こづゆ」、また福島市の特産品として知られる桃を使用した一口ももゼリーです。  
また、郷土料理の提供に併せてPowerPointを作成し、豊橋市と福島市の関係性や、福島市の特性や特産物について郷土料理を味わいながら学びました。



- 活動の成果、今後の課題  
普段の食事では食べることができない郷土料理を食べることで、その地域の食文化に触れ、パートナーシティである福島市についてより理解を深めることができました。児童からは、「福島に行ったことがないので食べることができてうれしい」という声が上がりました。



取組項目：学生・社員食堂等での郷土料理の提供促進（取組場面：学校）

## 妊産婦栄養教室 だし活のすすめ～おうちで和食～

尾張旭市

●実施時期：①2023年4月13日、②6月20日、③8月24日、④10月12日、  
⑤12月14日、⑥2024年2月9日

●対象者：市内在住の妊娠中・子育て中の方

●内 容

「だし」を通して簡単な和食を学ぶことで、若い世代への減塩対策など健康的な食生活を送るための知識普及、妊娠中の方は離乳食作りがスムーズに開始できるよう理解を深めるための教室です。

4月から8月までは、管理栄養士による講話・だし汁のとり方の実演・試飲、10月以降は調理実習と試食・託児を再開しました。

また、希望者には持参したみそ汁の塩分濃度測定を実施しました。

●活動の成果、今後の課題

【参加者】①②③各5名、④6名、⑤7名、⑥2名

事後アンケートでは「離乳食にも生かせそう」「塩分のとり過ぎに注意し、自分の味を作っていきたい」「だしをとってみたら簡単だった」「託児ができたので、安心して参加することができた」などの回答が多くありました。

●デジタル化の推進について

参加申し込みや事後アンケートでLogoフォームを活用しました。



取組項目：日本型食生活の良さの啓発（取組場面：地域）

## 食育イベント（次世代への食文化の継承）

北名古屋市

●実施時期：2023年6月18日、2023年10月15日

●対象者：子育て中の保護者とその子ども、小学生、中学生

●内 容

第3期北名古屋市食育推進計画に基づき、郷土料理や家庭料理などの祖父母世代の食文化に関する知識と食事作りの技術を伝承するため、対象世代が集まる機会を利用して、試食と体験を含むイベント型の啓発活動を行いました。

1回目は「かきまわし」を、2回目は「おはぎ」を作り、各回80～100人ほどの参加者が楽しく体験して共食しました。

本事業は「NPO法人温故知新クラブ」に委託をし、子ども食堂「ちゃん子～子どもの居場所～」の開催に合わせて実施しました。

●活動の成果、今後の課題

市の調理施設で料理教室型で実施していた時は収容人数の制限により多くても15組程度しか参加ができませんでしたが、イベント型の事業にしたことで多くの親子に体験してもらうことができました。



取組項目：地域の食文化や伝統的な作物の紹介、高齢者の持っている食に関する知識の継承(取組場面：地域)

## 2023年度食育イベント長久手を食べよう！ ～真菜そば試食会&野菜マルシェ～

長久手市

- 実施時期：2023年11月5日
- 対象者：市民、愛知淑徳大学コミュニティ・コラボレーションセンター
- 内 容

「若者世代が調理する機会の創出と日本文化の継承」を目的として、長久手市の伝統野菜「真菜」を利用し、そば試食会を開催しました。

そば打ち指導は、長久手そば打ち愛好会へ依頼し、愛知淑徳大学コミュニティ・コラボレーションセンターからの参加学生が事前にそば打ちを学び、160食を参加者に振舞い、参加者にはアンケートの実施と真菜の種を配布し、真菜の認知度や活用度等の調査、普及啓発に努めました。

また、併せて「地元農産物の情報発信」を目的とし、本市アグリサポート事業の農学校受講生が販売実習を兼ね野菜マルシェを開催し、愛知淑徳大学生が作成した秋冬野菜のレシピ集の配布も行いました。

### ●活動の成果、今後の課題

伝統野菜「真菜」に関して、イベント当日や開催後にマスコミ等から取材があり、一定のPR効果が得られたため、一過性のものとするのではなく継続的に本市伝統野菜に市民が関心を持ち、地産地消に繋がる取組となるようにしていきたいです。



取組項目：地域の食文化や伝統的な作物の紹介、高齢者の持っている食に関する知識の継承(取組場面：地域)

## 親子講座 昆布大使直伝！～白だしを作ろう～

大府市健康づくり食育推進協議会

- 実施時期：2023年8月9日
- 対象者：市内在住、在学、在勤の方
- 内 容

昆布大使より、昆布に関する知識や白だし作りについて学びます。昆布は日本を代表する食材で、和食に欠かせないだしの一つですが、最近では昆布を使用してだしを作る方が減ってきています。親子で一緒に昆布について学び、白だしをすることで、家庭で白だしを活用した調理を行ったり、昆布についてよく知るきっかけにするために開催しました。

教室の中で、昆布の生息地によって異なる昆布の種類や、種類によって異なる味や香り、用途について等、クイズ形式で楽しく学びます。白だしを使った料理を実際に試食し、家での活用方法も学びます。

※昆布大使とは、一般社団法人日本昆布協会が認定した方で、昆布に関する役立つ情報やイベントをPRする活動を年間を通して行っています。

### ●活動の成果、今後の課題

親子で学べる講座は、家で料理をするきっかけにもなるとの声が多くあり大変好評でした。新型コロナウイルス感染症の感染対策も行いながらの実施であったことから、参加人数を10組と制限していたため、次回実施する際には参加人数の拡充を検討したいです。

また、家で簡単に白だしを作ることができるということを、市民へ還元していきたいです。



取組項目：地域の食文化や伝統的な作物の紹介、高齢者の持っている食に関する知識の継承(取組場面：地域)

## 地産地消！コンニャクをつくろう

西尾市

●実施時期：11月16日

●対象者：市民

●内 容

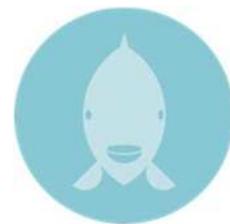
西尾市で生産された生芋を使ったコンニャクづくりを行いました。  
家庭ではなかなか作る機会のないコンニャクを手作りすることや、コンニャクについての説明を行うことで、食への関心を高めました。  
生芋は、西尾市で生産されているものを使用し、地産地消についても学びました。

●活動の成果、今後の課題

「普段作ることのないコンニャクを作られて良かった」との声が聞かれました。食への関心を高め、地産地消に繋がるきっかけとなりました。今後も同様の取組を継続していきたいと考えています。



取組項目：地域の食文化や伝統的な作物の紹介、高齢者の持っている食に関する知識の継承(取組場面：地域)



## 食を通じて環境に優しい暮らしを築く取組

食べ物の消費と生産の両面からの取組を推進するため、「食生活における環境への配慮の徹底」、「農林水産業への理解と地産地消の推進」及び「農林水産業や食品関連産業における環境への配慮の徹底」について取り組みました。

### 1 食生活における環境への配慮の徹底

#### 有機無農薬のお米づくりで田んぼの豊かさを満喫しよう

日進市

- 実施時期：通年（全6回）
- 対象者：市民
- 内 容

田んぼが地球温暖化対策や生物多様性の保全に貢献していること、また完全有機無農薬で生態系に悪影響を及ぼさない稲作を学んでいただくため、市内の田んぼでの農育体験の講座を実施しました。実施にあたっては、市民団体に委託することで市民との協働による環境まちづくりを推進しています。5月に参加者（10組程度）を募集し、6月から12月にかけて、田植え、自然観察会、除草、かかし作り、稲刈り、収穫祭を開催しました。：

<https://www.city.nisshin.lg.jp/departament/seikatu/kankyau/6/2/2/nisshinesd/8783.html>

#### ●活動の成果、今後の課題

参加者からは、「細くて小さな3本の苗が、4か月で何本もの太い株になっていて、感動した」、「田んぼに、こんなにたくさんの生き物がいるとは知らなかった」といった声が聞かれました。今後も市民団体と協働し、内容を工夫しながらこの取組を継続していきたいと考えています。



取組項目：SDGsを意識した環境学習の推進（取組場面：地域）

## 食品ロス削減チャレンジによる行動変容の実施

愛知県資源循環推進課

- 実施時期：2023年10月～12月
- 対象者：県民
- 内 容

国が2017年度に実施した実証事業では、食品ロスの計量を行うことで約2割、さらに計量に加えて削減の取組を学ぶことで約4割、食品ロス量が削減される結果となっています。

家庭で取り組める事例をまとめた啓発冊子を作成・配布し、日々の生活で出た食品ロス量をチェック（計量）し、減量に1週間取り組むチャレンジ企画を実施しました。

### ●活動の成果、今後の課題

539世帯の方に参加していただき、89%の方にチャレンジに参加し1週間取り組んだことにより意識に変化があったとの回答をいただきました。

### ●新規取組について

食品ロスの半分が家庭から発生しており、食品ロス削減に向けた家庭への働きかけが重要です。これまでは普及啓発を中心に取組を行っていましたが、更に行動変容も促せるよう新規取組を実施しました。



取組項目：グリーン購入の普及啓発、暮らしの中で実施できる食に関連する環境配慮行動の推進等（取組場面：地域）

## SDGs エシカルチャレンジ2023

生活協同組合コープあいち

- 実施時期：第1期2023年5月29日～、第3期10月2日～
- 対象者：コープあいち組合員
- 内 容

プラスチックや食品ロスの問題、エシカル消費など、組合員が暮らしの中で楽しく参加し自然と意識できるよう項目を設定したチャレンジシートを配布して取り組みました。

チャレンジ項目は「あいちを食べよう 日本の食をたいせつに」など地元産物への関心、宅配の予約登録、店舗のてまどりの推進など、組合員のちょっとした意識や消費行動がエシカル消費、食品ロス削減につながっている実感をいただくよう取り組みました。

環境を切り口に食育の側面を併せ持つ取り組みで、宅配や店舗の職員とともに広く参加を呼びかけました。

### ●活動の成果、今後の課題

2021年から組合員の1%（5,000名）の参加を目標に掲げ、2023年度第1期に参加者6,184名と3年がかりで達成しました。多くの組合員に食品ロス削減等の取り組みをアピールでき、今では食品ロス学習会の要望などいただいています。

今後はさらに食育、食品ロス、環境活動に関して暮らしに寄り添いながら新たな取り組みなど発展させたいと考えています。



取組項目：エシカル消費を意識した行動の普及啓発（取組場面：地域）

## フードドライブの推進

春日井市

- 実施時期：通年
- 対象者：市民
- 内 容

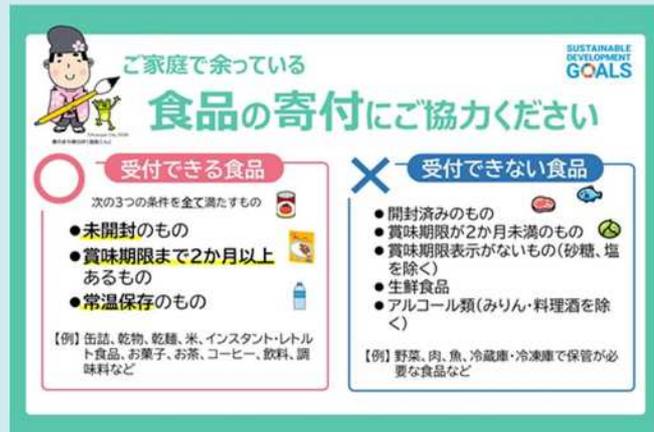
食品ロスの削減や食を通じた支えあいの地域づくりを推進するため、家庭や企業で消費しきれない未使用食品について、市役所窓口等で寄付の受付を行うとともに、子ども食堂やフードパントリー等の福祉団体に円滑に届けられるよう関係団体等のネットワークの構築を行います。

### ●活動の成果、今後の課題

2023年6月から市役所窓口等での未使用食品の寄付の受付を開始し、2024年1月末時点で約2千点の寄付がありました。食品はフードバンクを通じて子ども食堂等の福祉団体に提供しました。また、子ども食堂等の関係団体や食品関連事業者で構成するフードドライブ事業ネットワーク連絡会を開催し、関係団体等の連携を強化することができました。

### ●連携について(連携先：フードバンクかすがい等)

フードドライブの推進に向けて、市とフードバンクや子ども食堂等の関係団体、食品関連事業者等の連携強化が必要と考えました。



取組項目：積極的に食品ロス削減に取り組むための普及啓発（取組場面：地域）

## フードドライブの実施、食品ロス普及啓発

日進市、日進市社会福祉協議会、日進アシスト

- 実施時期：通年、イベント時
- 対象者：市民
- 内 容

食品ロス削減及び地域の福祉団体や施設、子ども食堂、生活に困窮されている方たちに届ける活動です。

広報にっしん（R5. 6、7、10）、にっしんテレビ（R5. 8）による周知啓発

### ●活動の成果、今後の課題

持ち込んだ食材の保管場所、管理体制などが不十分です。またそれに伴う人件費等費用負担の増加です。

### ●デジタル化の推進について

にっしんテレビ（YouTube）での啓発

<https://www.youtube.com/watch?v=Bgk8oY1CX4k>



取組項目：積極的に食品ロス削減に取り組むための普及啓発（取組場面：地域）

## 常滑市フードドライブ事業

常滑市

- 実施時期：2023年10月2日～10月31日
- 対象者：市民
- 内 容

常滑市では年間約1,000トンの食品ロスが出ていると推計されており、その削減は大きな課題だととらえております。そのため、市民に食品ロス削減に向けた意識を持ってもらいたいと考え、フードドライブ事業を行いました。

フードドライブは10月の食品ロス削減月間と合わせて実施し、1カ月の間市役所や市内保育施設等を窓口として各家庭で使い切れない未使用食品を回収しました。回収した未使用食品は常滑市社会福祉協議会と連携し、福祉施設等へ配布しました。

### ●活動の成果、今後の課題

活動を通じ、約60名の市民から約87kgの未使用食品を回収しました。

今後の課題としては、ルールの周知徹底があります。今回のフードドライブでは賞味期限が1カ月以上あるものを回収すると広報していましたが、賞味期限が切れたもの、切れる直前のものを持ってくる方もいたため、今後フードドライブを行う場合は周知の徹底が課題になると考えています。

### ●デジタル化の推進について

フードドライブ事業のチラシのデータを公立保育園に通園している保護者すべてに一斉メールして周知を行いました。



取組項目：積極的に食品ロス削減に取り組むための普及啓発（取組場面：地域）

## 「食品ロスしないもん！おいしく、かしこく、ごちそうさまキャンペーン」の実施

名古屋市

- 実施時期：2023年10月1日～10月31日
- 対象者：市民
- 内 容

食品ロス削減対策事業として以下3つの取り組みを実施しました。

- (1) 食べ残しゼロ協力店デジタルスタンプラリー「ごちスタンプラリー」  
外食時の食品ロス削減を目的としたデジタルスタンプラリーの実施
- (2) 「ごちアクション大募集」  
食品ロス削減についてより身近に考えていただくため、日頃実践している食品ロス削減の取り組みを短文又は写真で募集
- (3) 食品ロス削減ハンドブック「ごちブック」の作成・配布  
家庭、買い物、外食の各シーンで食ロスを意識してもらうための行動事例を紹介する冊子を作成・配布

### ●活動の成果、今後の課題

「ごちアクション大募集」企画では幅広い年代の方から応募があり、食品ロス削減について身近に考え気軽に楽しく行動していただくための取組とすることができました。

引き続き市民・事業者・行政がそれぞれの立場で食品ロス削減に主体的に取り組む、社会全体で対応していけるよう、食べ物を無駄にしない意識の醸成と定着を図っていきます。



取組項目：積極的に食品ロス削減に取り組むための普及啓発（取組場面：地域）

## 2 農林水産業への理解と地産地消の推進

### 「大口町を食べる給食」の実施

大口町保育園

- 実施時期：2024年2月9日
- 対象者：園児
- 内 容

大口町の保育園給食は地産地消の意識のもと、地元の食材や園で栽培している野菜を積極的に取り入れています。

今年度は「大口町を食べる給食」として、かりもりチャーハンと大口町の花咲くスープを提供しました。かりもりチャーハンは昨年度、町制60周年を記念して調理員と考案したメニューです。

また、食材は地元の農家から購入したものを使用しました。

#### ●活動の成果、今後の課題

子どもたちは、「かりっ」としているかりもりの食感を楽しみながら、味わっていました。

地元で栽培している食材や食品を今後も給食で積極的に使用をし、子どもたちや保護者に啓発を行っていききたいと考えています。



取組項目：学校給食を活用した子どもへの地産地消の理解促進（取組場面：保幼）

### あいさいさん☆給食コンクール

愛西市教職員会栄養教諭部会

- 実施時期：2023年7月～2024年2月
- 対象者：市内小学4年生～中学3年生
- 内 容

地産地消の推進と児童生徒への市内主要農産物の啓発・推奨を目的に、愛西市の野菜をテーマにした「あいさいさん☆給食コンクール」を実施しています。今年度は「ねぎ」をテーマに実施し、最優秀賞および優秀賞に選ばれた各1作品を2月給食で提供しました。受賞作品については、食育だよりや放送資料、市内広報で紹介しました。また、コンクールへの参加意欲を促す手立てを考えることを目的に、コンクール参加対象児童生徒への実態調査アンケートを実施しました。

#### ●活動の成果、今後の課題

小学校217点、中学校194点、合計411点の応募がありました。テーマ食材の「ねぎ」の他に、れんこんやにんじん、トマトなど他の愛西市の地場産物の活用も意識した作品が多く、愛西市の地場産物に関する知識や、地産地消の意識が高まっていると考えられます。一方で、アンケート調査結果より「夏休みのコンクール実施は他の多くの課題と被ることにより参加率が伸びない」という課題が挙げられました。今後は、応募数増加につなげられる取組の実施について検討していきたいです。

#### ●デジタル化の推進について

アンケート調査にGoogleフォームを活用することで、市内各校でスムーズに調査することができました。また、集計を自動化できたことで、回答結果の集約・分析を効率的に行うことができました。



最優秀賞  
「愛西いっぱいキーマカレー」



取組項目：学校給食を活用した子どもへの地産地消の理解促進（取組場面：学校）

## おいしいあんじょうアンバサダー

安城市

- 実施時期：通年
- 対象者：不特定多数
- 内 容

安城市出身のモデル・タレントの川村茉由氏を「おいしいあんじょうアンバサダー」として起用し、安城市の農業、地産地消をPRしました。

SNSやラジオでの発信、安城梨の無料配布、特産品イベントへの出演、特産品のポスター撮影など多岐にわたる活動を行いました。

- 活動の成果、今後の課題

イベントでは、市内、市外問わず多くの方に参加していただき、多くの方に安城市や、安城市の特産品を知って頂くことができました。

撮影したポスターを市内施設に掲示したり、ポスター写真をグッズにしてイベント時に配布したりなど様々な方法を用いて安城市の農業をPRすることが出来ました。



取組項目：直売施設の整備や県民への情報提供の推進（取組場面：地域）

### 3 農林水産業や食品関連産業における環境への配慮の徹底

#### 県内における資源管理の促進

愛知県水産課、県内漁業者

- 実施時期：2023年度
- 対象者：県内漁業者
- 内 容

水産資源を持続的に利用するため、漁獲と再生産のバランスをとりながら資源を適切に管理することを「資源管理」といいます。本県では、今後の資源管理のあり方の基本方針として愛知県資源管理方針等を定めており、漁業者はこれらに基づき、それぞれ資源管理協定等を策定し、定期休漁、小型魚の放流等に取り組んでいます。

- 活動の成果、今後の課題

県内漁業者へ連携を図り、資源管理を推進した結果、計38件の資源管理計画及び資源管理協定に延べ808名が取り組んでいます。（2024年1月末現在）

水産資源を持続的に利用するため、引き続き、県内漁業者と連携して資源管理を推進します。

- デジタル化の推進について

漁獲情報の電子的収集体制の構築



取組項目：水産資源の持続的利用のための資源管理（取組場面：地域）

## 食育を支える取組

食育を効果的に推進するため、市町村や食育を推進する企業・団体等の関係者との連携を図りつつ、「食育にかかる人材の育成と活動の充実」、「多様な関係者による役割分担とネットワークの活用」及び「いいともあいち運動の推進と充実」に取り組みました。



### 1 食育にかかる人材の育成と活動の充実

#### とよはし健康宣言事業所

豊橋市

●実施時期：通年

●対象者：市内事業所で働く従業員

●内容

市内事業所の健康経営推進のため、市独自の健康経営認定・支援制度を設けています。企業における食育の支援としては以下を実施しています。

- (1) 管理栄養士による栄養講座、減塩講座
- (2) 血糖モニタリングデバイスによる食生活チェック
- (3) 健康に配慮した弁当の紹介
- (4) 食生活改善に関する各種サービスの実証実験

●活動の成果、今後の課題

健康経営を推進し、職場が変わることで、健康無関心層も含め、勤労世代が食生活改善に取り組みやすい環境をつくることができます。今後も継続して取り組んでいきます。

●連携について

健康経営を広く普及させるため、豊橋市商工会議所、協会けんぽ愛知支部と協定を締結し、本認定・支援制度を運営しています。

●デジタル化の推進について

- ・従業員の利便性を考え、どの講座もオンラインで受講することができます。
- ・血糖モニタリングデバイスによる食生活チェックでは、デバイスとアプリにより行動変容を促します。



取組項目：企業における食育の推進（取組場面：職場）

## 健康すごろくの配布

知立市

- 実施時期：2023年5月15日～
- 対象者：市民
- 内 容

市民が規則正しい生活習慣を身につけるきっかけづくりとして健康すごろく事業を実施しました。

制作の段階から包括連携協定を締結した大塚製薬株式会社と協同し、「第2次健康知立ともだち21計画」、「第2次知立市食育推進計画」をもとに健康や食育内容を盛り込んだすごろくを作成しました。

市民向けに市内児童センターを含め300部配布し、配布の際は、大塚製薬より提供いただいた商品の引換券を付け、健康や食育について周知啓発を行いました。

### ●活動の成果、今後の課題

子どもだけでなく高齢者サロンなどでも幅広い年齢の方に楽しんでいただくきっかけとなりました。アンケート結果ではすごろくを通して健康や食育についての知識が深まったという回答や大塚製薬の商品が欲しかったという回答等から媒体として適当であり連携をして双方のメリットもみられました。今後もすごろくを利用した周知啓発を検討していきたいです。

### ●デジタル化の推進について

知立市のホームページで「健康すごろく」を掲載。誰でもダウンロードすることができ遊ぶことができます。



取組項目：食育推進資料・食育グッズの作成や各種調査（取組場面：地域）

## 2 多様な関係者による役割分担とネットワークの活用

### ANJO-DON（安城丼）レシピコンテスト（名古屋文理大学）

安城市

- 実施時期：4月～12月
- 対象者：名古屋文理大学学生及び市民
- 内 容

名古屋文理大学の学生を対象に安城市産の農畜産物を使用した「ANJO-DON（安城丼）」のレシピコンテストを開催しました。

包括協定を締結している名古屋文理大学の学生の学ぶ機会の創出と、本市における食育の課題を学生の柔軟なアイデアを参考にすることで、相互に連携し、市民へ「食育を知る機会」を提供することを目的として実施しました。

入賞した5点は市役所食堂で提供しました。

### ●活動の成果、今後の課題

応募総数55点（入賞5点）11月～12月の毎週水曜日に入賞5点を食堂で販売しました。今後は、市役所食堂以外での販売も検討する予定です。



取組項目：行政、団体、教育機関、企業等との連携による食育活動の場の提供（取組場面：地域）

### 3 いいともあいち運動の推進と充実

#### 「食育レシピコンテスト」with “いいともあいち”

愛知県食育消費流通課

- 実施時期：2023年5月から12月まで
- 対象者：愛知県内の高等学校・専門学校・大学に在学する生徒・学生および「いいともあいちネットワーク会員」等

#### ●内 容

2022年度に実施した食育推進全国大会関連企画「学生レシピコンテスト」を発展・継承し、産学の連携や相互理解をさらに深めることで、大会のレガシーを次世代へつないでいくため、「“あいちの食”を地産地消から考える～持続可能な食を支える“SHIN化”する食育～」をテーマに、高校生、大学生等による3名1組のチームが、いいともあいちネットワーク会員である企業や生産者等と連携して新しいレシピを考案する「食育レシピコンテスト」を開催しました。

#### ●活動の成果、今後の課題

レシピ応募件数は、47チーム（13校）ありました。

- ・内訳：大学25チーム（6校）、短期大学4チーム（1校）、専門学校13チーム（4校）、高等学校5チーム（2校）

応募作品の中から選ばれた上位4チームによる調理実演、プレゼンテーションを実施した二次審査や表彰式の様子をYouTube「あいち食育いきいきチャンネル」で配信しました。

また、入選した20の作品を紹介するレシピ集を作成し、食育イベントで配布するとともに、Webサイト「食育ネットあいち」に掲載しました。



取組項目：いいともあいち推進店の拡充など県産品の購入・消費の機会の拡大  
(取組場面：地域)



#### 「いいともあいち運動」って知ってる？

県内の消費者と生産者が  
今まで以上にいい友関係になる

[ Eat more Aichi products ]

(イート モア アイチ プロダクツ)

もっと愛知県産品を食べよう(利用しよう)



## IV 県や関係団体の取組一覧

2023年度に県や関係団体などが実施した、食育の取組で報告のあった254件の一覧は次のとおりです。「Ⅲ 2023年度の主な取組の状況」で紹介した取組以外の各取組の詳細については、愛知県食育消費流通課までお問い合わせください。

食を通じて健康な体をつくる 		
ライフスタイルに即したバランスのとれた食生活の実践		
取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛知県栄養教諭研究協議会	教科等と連携した給食の時間における指導の充実 「教科等と関連した給食の時間における食に関する指導例」の作成	8
稲沢市	0歳児歯科健康診査の集団栄養指導	7
岩倉市	プレママと産後ママの交流会	
岡崎市	おかざき健康・食育だより「まめ吉通信」	
尾張旭市	離乳食教室	
	ヤングのうちから健康みつめ隊	
	シニアのための栄養講座	
	健康朝食メニュー「簡単！野菜もプラス！朝ごはん～元気のスイッチを入れよう～」(公募)	10
春日井市	学校給食啓発ポスターの募集	
	春日井市配食サービス利用助成事業	
春日井市、春日井市食生活改善協議会	モグモグごっくん教室、カミカミ歯っぴー教室	12
春日井市立下津保育園	みんなでおいしく、何でも食べよう	
春日井市立第二保育園	食育指導、野菜栽培、今日の献立、歯磨き指導	
蟹江町	健康教室(高血圧)	
刈谷市	男性のための栄養教室	
	小学校5年生を対象とした食に関する指導「どんな食事がよいのか考えよう」	
	小学校2年生を対象とした食に関する指導「食まるパワーのひみつを知ろう」	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
刈谷市	「食生活に関するアンケート」の実施	
刈谷市中央子育て支援センター、南部子育て支援センター、北部子育て支援センター	おやつレシピ紹介及び配布	
	食育に関する子育て講座の開催	8
	離乳食レシピの回覧及び配布	
刈谷市南部子育て支援センター	畑の栽培や収穫を通して野菜に親しもう	
刈谷市立富士松南保育園	野菜を育てよう	
清須市	子育て情報WEBサイト「キヨスマ」へ食に関する情報掲載	
公益社団法人愛知県栄養士会	スポーツ栄養セミナー	9
田原市	高校生朝ごはんプロジェクト（高校生朝ごはんレシピ企業PR）	
東海市	健康支援型配食サービスを活用し、会食しながら学ぶ栄養講話の開催～いきいきランチ会～	13
東郷町	マタニティクラス初期編	12
	メタボ対策からフレイル予防へギアチェンジの巻 これぞ体丈夫（だいじょうぶ）教室	
	65歳の方のための出張講座「シニア世代に必要な食事～低栄養予防って？～」	
	65歳の方のための出張講座「目で見て驚く！実際のシニア世代の食事の必要量」	
	男性のための料理教室 簡単・おいしい・栄養満点教室	
豊橋市	野菜をたべよう！チャレンジ	10
長久手市	給食センター施設見学試食会	
	給食だよりの発行	
	離乳食教室	
	長久手市高齢者配食サービス事業	
長久手市、食と健康を考える会	朝食講座	
名古屋市	SNSを活用した普及啓発	11
西尾市	良いきゅうりの日～ふれあい授業と学校給食への寄贈～	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
西尾市	西尾市観光協会食部会による食育講座	
西春日井地区教育振興会学校給食部 清須市小学校第1部会	食に関心をもち、バランスのよい食生活を送ろうとする 児童の育成	
半田市児童体験農業実行委員会他	児童体験農業	
東浦町	赤ちゃん教室 もぐもぐ編	
	赤ちゃん教室 かみかみ編	
碧南市	醸造のまち継承事業	
	地元特産の「赤シソ」を使った食育授業の開催	9
	高齢者への高血圧予防レシピ配布と試食	13
碧南市立日進小学校、大浜小学校、 棚尾小学校、鷲塚小学校、新川小学 校	ニンジン講習会	
みよし市	食育講演会	11

### 生活習慣病予防や適正体重維持の推進

取組主体、団体名	取組名称	ページ
安城市	旬の野菜を使用したレシピの提供とメニューの販売（地 産地消イベント）	
一般社団法人愛知県歯科医師会	第13回もっと噛んで歯ッピーレシピコンテスト	14
岡崎市	三河武士ごはん	16
尾張旭市	あなたのためのちよいやせ道場	
	タニタ健康プログラム教室	
刈谷市	小学校5年生を対象とした食に関する指導「生活習慣病 にならないための食生活を考えよう」	
小牧市	「食育だより」リーフレットの作成及び配布	14
生活協同組合コープあいち	産学連携イベント「野菜を食べよう試食交流会」	
知多市	食育の日啓発キャンペーン「野菜を手軽に！ちゃちゃっ とベジ」	17
	野菜を食べようプロジェクト「野菜たっぷり！！ヘル シーメニュー」	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
豊田市、豊田市食品衛生協会	野菜を食べよう！スタンプラリーの開催	17
豊橋市	健幸モデル地区事業	16
	特定保健指導（栄養教室）	
	特定給食施設巡回指導	
	食改さんのヘルシークッキング	
長久手市	保育園歯科健康教育	15
名古屋市	野菜摂取量推定機器「ベジチェック®」を活用した啓発	
日進市	プチ食育・プチむし歯予防講座	
半田市	野菜の手ばかり目ばかり	15
	健康サポーター養成講座	

### 食の安全・安心に関する信頼の構築

取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛知県県民生活課	消費生活モニターに対する情報提供	
一般社団法人愛知県薬剤師会	健康食品に関する情報提供	
岩倉市	乳と卵の除去食の提供	18
尾張旭市	給食センター見学	
	あさびースマイル給食	
	もっと！あさびースマイル給食28	
東郷町立保育園	にこにこ給食	
長久手市	現任保育士研修	

食を通じて豊かな心を育む 		
食を楽しむゆとりの積極的な確保		
取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛西市立佐屋中央保育園	給食食材の皮むきおよび切断	
愛西市立保育園（佐屋中央・佐織）	バランス給食	
海部地区栄養教諭連絡会	教科等と関連させた指導の実践 道徳科「心のこもった給食」	
岩倉市	いわくら みんなのアイデア給食	
尾張旭市	食育推進講演会及び学校給食試食会	
尾張旭市立稲葉保育園	食育巡回指導	
春日井市立岩成台保育園	食への興味・関心を引き出す取り組み	
春日井市立上八田保育園	日常保育における食育	
春日井市立大手保育園	園内で野菜等の栽培 食育の日（行事食）	
春日井市立勝川北部保育園	幼児組ランチルーム	
春日井市立藤山台保育園	野菜の栽培	
春日井市立前並保育園	食育活動、野菜の栽培・収穫体験	
春日井市立松原保育園	好き嫌いなく何でも食べよう	
春日井市立桃山保育園	楽しく食べる元気な子	
蟹江町	教科と関連させた指導資料の作成	20
清須市	野菜に関心を持とう	
第2へきなんこども園	米・野菜を育てる	
知立市立新林保育園	野菜栽培等を通して季節や旬を感じよう	
知立市立高根保育園	食育活動と保護者への啓蒙	19
飛島村、飛島村健康づくり食生活改善協議会	お昼ご飯を作ってみよう（児童館調理実習）	20
名古屋市	保育所給食における「なごやめし」の実施及び「食育月間」に関する情報発信	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
日進市	保育園給食における地産地消食材使用	
碧南市社会福祉協議会 棚尾保育園	おやつ野菜の皮むき体験	
碧南市社会福祉協議会 西端保育園	そらまめ皮むき体験	
碧南市 HEXPO STAFF	プレイメイト活動事業 お菓子づくり	
碧南市立鷺塚保育園	おやつ野菜の皮むき体験	

体験や交流を通じた豊かな人間性の育成と食の理解促進		
取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛西市食育推進専門部会	自立クッキング	23
愛知県教育委員会保健体育課、公益財団法人愛知県学校給食会、東海学園大学	あいちの味覚たっぷり！わが家の愛で朝ごはんコンテスト	24
愛知県食生活改善推進員協議会（半田市食生活改善推進員協議会）	愛知県親子の食育推進普及事業 夏休みの親子の食育教室	
愛知県農業協同組合中央会	第1回あいち食農教育表彰	23
一宮市	こどもクッキングいちのみや	
一般社団法人愛知県薬剤師会	あいち健康の森薬草園イベント	
岡崎市	学校給食メニューコンクール	
尾張旭市	夏休み！親子で探検給食センターわくわくツアー	
	あったらいいなこんな給食	
尾張旭市立中部保育園	栽培した野菜の調理体験～ラタトゥイユ作り～	
尾張旭市立川南保育園	さつまいもの栽培と芋きんとん作り	
尾張旭市立茅ヶ池保育園	絵本給食	
春日井市、T・I・Tふれあい農園共同体（ふれあい農業公園指定管理者）	稲作体験	
	あい農パーク春日井（春日井市ふれあい農業公園）	
春日井市、あい農パーク春日井（春日井市農業ふれあい公園）	おいしくベジタベ教室	21
春日井市立味美保育園	子どもたちによる野菜の苗植え、収穫	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
春日井市立小野保育園	野菜を育てる	
春日井市立柏原西保育園	食育指導	
春日井市立柏原保育園	夏野菜の栽培	
春日井市立貴船保育園	野菜の栽培	
春日井市立坂下北保育園	食育指導	
春日井市立坂下南保育園	野菜の栽培・収穫体験 地域交流	
春日井市立神領保育園	野菜の栽培	
春日井市立西部保育園	夏野菜日記	
春日井市立外之原保育園	野菜の栽培・収穫体験や、地域の方の畑での収穫体験	
春日井市立第一保育園	野菜を育てよう	
春日井市立第三保育園	野菜の栽培・収穫（夏・冬野菜）	
春日井市立玉川保育園	イチゴを育ててみんなで食べよう！	
春日井市立出川保育園	野菜栽培	
春日井市立瑞穂保育園	夏野菜の栽培と収穫	
蒲郡市	栽培・収穫体験を通じて、食べ物を身近に感じよう！	22
	親子魚料理教室	
	蒲郡子ども農業教室	
刈谷市	「忙しい朝も手軽においしく！しょくまるサンド～しょくまる5人をそろえよう～」コンテスト	24
	親子農業体験教室・親子農作物収穫体験教室	
	地元農産物を活用した学校給食提供時における生産者の学校訪問	
刈谷市立小垣江幼稚園	5歳児さつま芋栽培	
刈谷市立小高原小学校	地元野菜の生産者との交流会	
刈谷市立かりがね保育園	夏野菜をみんなで育てて食べてみよう	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
刈谷市立衣浦幼稚園	地域の人と農業体験	
刈谷市立さくら保育園	さつまいも栽培～おいもパーティーをしよう！～	
清須市	食育啓発ポスターの掲示	
	保育園さつまいも収穫体験	21
	レジャー農園、市民農園	
	農業体験塾	
幸田町	幸田町子ども食育体験教室	
江南市	親と子の栄養教室	
小牧市（公立保育園14園、第一幼稚園）	夏野菜・サツマイモ等の栽培	
豊川市	第11回 とよかわおもてなしレシピグランプリ	
豊橋市	食農教育推進イベント	
長久手市立色金保育園	夏野菜を育てる	
長久手市立長湫東保育園	カレー作り	
長久手市立長湫東保育園ほか5園	芋掘り体験	
	田植えの体験	
名古屋市	消費生活実習講座の実施	
西尾市	米づくり体験授業	
	僕・私が作る！アイデア朝ごはんコンテスト	
	親子で田植え体験&米袋を作ってみよう！	
	地産地消！親子でさつまいも掘り	
	魚をみて・さわって・さばいて食べよう！親子で魚食教室	
日進市	日進アグリスクール（農学校）の開催	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
日進市農業委員会	保育園児の玉ねぎ収穫体験	
日本労働組合総連合会愛知県連合会	ここあファーム『親子de農体験』	
白山保育園（春日井市）	さつま芋の栽培から収穫	
半田市	半田市6次産業化農業者支援プロジェクト	25
碧南市社会福祉協議会 荒子保育園	触れ合い農園における地域の方との収穫体験	
碧南市社会福祉協議会 大浜保育園	野菜のもぎとり体験	
碧南市社会福祉協議会 新川保育園	保育園で野菜を育てる	
碧南市地産地消推進協議会（農事組 合法人前浜川口農業活性化組合）	野菜のもぎとり体験の開催	
碧南市地産地消推進協議会（碧南市 健康づくり食ボランティア協議会、 生活協同組合コープあいち）	エプロンシアターの開催	
碧南市民図書館中部分館	土ようおはなし会「ぼうけんにいこう」	
碧南市立築山保育園	野菜を育てて	
碧南市立日進保育園	ふれあい農園で地域の方とのさつまいも苗差し、収穫体験	
碧南市立羽久手保育園	保育園で冬の野菜を育てよう	
よしいけ保育園（高浜市）	食育・クッキング	22
吉浜さんさん保育園（高浜市）	おにぎりを握ってみよう	

### 日本の食文化や郷土料理等の理解と継承

取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛知県教育委員会保健体育課	愛知を食べる学校給食の日	
大府市健康づくり食育推進協議会	親子講座 昆布大使直伝！～白だしを作ろう～	27
岡崎市	食文化継承料理講習会	
尾張旭市	妊産婦栄養教室 だし活のすすめ～おうちで和食～	26

取組主体、団体名	取組名称	ページ
尾張旭市	農政講座「米粉ピザ作り」「ライスバーガー作り」「みそ作り」	
蟹江町、蟹江町立保育所	食育指導と給食試食会	
蒲郡市	「愛知を食べる学校給食の日」の実施	
刈谷市	刈谷市産の食材を使用した献立の実施	
北名古屋市	食育イベント（次世代への食文化の継承）	26
清須市	保育園宮重大根収穫体験	
	小学校宮重大根栽培収穫体験	
新城市	クッキング教室	
知立市	学校給食の歴史を知ろう	
豊橋市	パートナーシティについて知ろう！福島の郷土料理の提供	25
長久手市	2023年度食育イベント長久手を食べよう！～真菜そば試食会&野菜マルシェ～	27
	味噌づくり体験	
長久手市立上郷保育園	食育指導（上郷保育園栄養士）	
名古屋市	「だいすき！なごや♥めし」の日	
西尾市	地産地消！コンニャクをつくろう	28
	地産地消！親子でうどんを打とう	
日進市、日進生活改善実行グループ	伝承料理レシピの紹介	
	伝承料理講習会・親子伝承料理講習会	
扶桑町、扶桑町守口大根漬物組合、株式会社扶桑守口食品	守口大根収穫体験及び粕漬け体験学習	

食を通じて環境に優しい暮らしを築く 		
食生活における環境への配慮の徹底		
取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛知県県民生活課	消費生活情報「あいち暮らしっく」の配信	
	エシカル消費普及啓発事業	
愛知県産業振興課	環境啓発用パンフレット作成	
愛知県資源循環推進課	食品ロス削減環境学習プログラムによる普及啓発の実施	
	食品ロス削減チャレンジによる行動変容の実施	30
春日井市	食品ロス削減の啓発	
	フードドライブの推進	31
春日井市、かすがい環境まちづくり パートナーシップ会議、東邦ガス ネットワーク株式会社	親子で楽しくエコ・クッキング	
春日井市立牛山保育園	季節の野菜を育てよう！	
刈谷市	エコ料理講座	
	中学校1年生を対象とした食に関する指導「食べよう！ 自分の体のために」	
刈谷市立東刈谷小学校	給食委員会	
小牧市	廃食用油等のリサイクルの推進	
生活協同組合コープあいち	SDGs エシカルチャレンジ2023	30
常滑市	常滑市フードドライブ事業	32
長久手市平成こども塾	学校連携事業	
名古屋市	「食品ロスしないもん！おいしく、かしこく、ごちそう さまキャンペーン」の実施	32
日進市	有機無農薬のお米づくりで田んぼの豊かさを満喫しよう	29
日進市、日進市社会福祉協議会、日 進アシスト	フードドライブの実施、食品ロス普及啓発	31

農林水産業への理解と地産地消の推進		
取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛西市教職員会栄養教諭部会	あいさいさん☆給食コンクール	33
愛知県農業協同組合中央会	農業教育用資料「愛知の農業」（冊子・動画）の作成・配布	
	J A 農産物直売所情報誌「フレ」の作成・配布	
あぐりん村（長久手市）	朝市	
安城市	おいしいあんじょうアンバサダー	34
	わたし輝く、あんじょういちじく～おいしいあんじょう特産品フェア～	
大口町保育園	「大口町を食べる給食」の実施	33
尾張旭市	ふれあい給食	
小牧市	小牧を知る学校給食の日	
瀬戸地域アグリカルチャー推進協議会	学校給食への地場食材利用拡大	
碧南市	地元産有機白しょうゆ・みりんを使った献立	

農林水産業や食品関連産業における環境への配慮の徹底		
取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛知県水産課、県内漁業者	県内における資源管理の促進	34
小牧市	ドライブスルー型「フードドライブ」の実施	
東郷町	フードドライブ	
日本労働組合総連合会愛知県連合会	ここあファーム	

食育を支える 		
食育にかかる人材の育成と活動の充実		
取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛知県子育て支援課	保育士等キャリアアップ研修	
愛知県小中学校長会 給食委員会	栄養教諭の専門性を生かした、豊かな心と健やかな体を育む食育の推進と充実のための調査研究	
愛知県水産課（愛知県漁業士協議会）	料理講習会による魚食普及活動	
愛知県東三河農林水産事務所	東三河地域食育推進ボランティア研修交流会	
岩倉市	岩倉市食の健康づくり推進員学習会	
知立市	健康すごろくの配布	36
豊橋市	とよはし健康宣言事業所	35
豊橋市、豊橋市食生活改善協議会	食生活改善推進員による食育活動のための園訪問	
豊橋市	食生活改善推進員育成研修会	
名古屋市	食環境づくりの優れた取り組みの普及	
西尾市	食育啓発用グッズの作成	

多様な関係者による役割分担とネットワークの活用		
取組主体、団体名	取組名称	ページ
安城市	地産地消イベント（愛知県安城農林高等学校）	36
	ANJO-DON（安城井）レシピコンテスト（名古屋文理大学）	
	健康教室「ミッションインベジタブル」（愛知学泉大学）	
尾張旭市西部保育園	おこしもの作り	
刈谷市立日高小学校 給食委員会	「食まるファイブでパワーアップ！！～食まるファイブ、日高小学校に参上！の巻～」	
長久手市、長久手市社会福祉協議会	地域の活動拠点の提供	

いいともあいち運動の推進と充実		
取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛知県食育消費流通課	「食育レシピコンテスト」with“いいともあいち”	37
	いいともあいち地産地消デジタルスタンプラリーを実施	

# V 食育推進に関する問い合わせ先

## ◎ 愛知県

名 称	電話・ファクシミリ	Eメール・URL
農業水産局農政部 食育消費流通課 (総合窓口、農林水産関係)	TEL 052-954-6396 FAX 052-954-6940	E-mail shokuiku@pref.aichi.lg.jp URL <a href="https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shokuiku/">https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shokuiku/</a>
保健医療局健康医務部 健康対策課 (健康福祉関係)	TEL 052-954-6271 FAX 052-954-6917	E-mail kenkotaisaku@pref.aichi.lg.jp URL <a href="https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/">https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/</a>
教育委員会事務局教育部 保健体育課 (教育関係)	TEL 052-954-6839 FAX 052-954-6965	E-mail hoken-taiiku@pref.aichi.lg.jp URL <a href="https://www.pref.aichi.jp/soshiki/hoken-taiiku/">https://www.pref.aichi.jp/soshiki/hoken-taiiku/</a>

## ◎ 関係団体等

名 称	電 話	Eメール・URL
愛知県栄養教諭研究協議会	—	<a href="https://www.aichi-ek.com/">https://www.aichi-ek.com/</a>
愛知県漁業協同組合連合会	052-971-3501	
愛知県経営者協会	052-221-1931	<a href="https://www.aikeikyo.com/">https://www.aikeikyo.com/</a>
愛知県国公立幼稚園・こども園長会	052-871-3808	(問合せ先 名古屋市立高田幼稚園)
愛知県小中学校PTA連絡協議会	052-251-8820	<a href="http://www.aichi-syoucyuu-p.com/">http://www.aichi-syoucyuu-p.com/</a>
愛知県小中学校長会	052-261-8152	<a href="http://aikochu.ec-net.jp/">http://aikochu.ec-net.jp/</a>
愛知県食生活改善推進員協議会	052-954-6271	(問合せ先 県健康対策課内)
愛知県農業協同組合中央会	052-951-6940	<a href="https://www.chu.aichi-ja.or.jp/">https://www.chu.aichi-ja.or.jp/</a>
愛知県農業経営士協会	052-954-6412	(問合せ先 県農業経営課内)
愛知県酪農農業協同組合	0564-53-2450	
愛知消費者協会	052-962-2530	
一般社団法人愛知県歯科医師会	052-962-8020	<a href="https://aichi8020.net/">https://aichi8020.net/</a>
一般社団法人愛知県調理師会	052-913-5271	<a href="http://aichi-chori.or.jp/">http://aichi-chori.or.jp/</a>
一般社団法人愛知県薬剤師会	052-953-4555	<a href="https://www.apha.jp/">https://www.apha.jp/</a>
公益財団法人愛知県学校給食会	0562-92-3161	<a href="http://aigaku.org/">http://aigaku.org/</a>
公益財団法人愛知県健康づくり振興事業団	0562-82-0211	<a href="https://aichi-kenko.or.jp/index.htm">https://aichi-kenko.or.jp/index.htm</a>
公益社団法人愛知県医師会	052-241-4138	<a href="https://www.aichi.med.or.jp/">https://www.aichi.med.or.jp/</a>
公益社団法人愛知県栄養士会	052-332-1113	<a href="https://aichiken-eiyoushikai.or.jp">https://aichiken-eiyoushikai.or.jp</a>
社会福祉法人愛知県社会福祉協議会保育部会	052-212-5509	<a href="https://www.aichi-fukushi.or.jp/">https://www.aichi-fukushi.or.jp/</a>
生活協同組合コープあいち	052-703-6022	<a href="https://coopaichi.tcoop.or.jp/">https://coopaichi.tcoop.or.jp/</a>
日本労働組合総連合会愛知県連合会	052-684-0005	<a href="https://www.rengo-aichi.or.jp/">https://www.rengo-aichi.or.jp/</a>
農村輝きネット・あいち	052-954-6409	(問合せ先 県農業経営課内)

愛知県食育推進会議

事務局 愛知県農業水産局農政部食育消費流通課  
〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号  
電話 052-954-6396 (ダイヤルイン)

E-mail [shokuiku@pref.aichi.lg.jp](mailto:shokuiku@pref.aichi.lg.jp)

Webサイト「食育ネットあいち」

<https://www.pref.aichi.jp/shokuiku/shokuikunet/>



ロゴマーク等デザイン

愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学 佐藤直木研究室



食育ネットあいち



<https://www.pref.aichi.jp/shokuiku/shokuikunet/>